

# Prius

## 取扱説明書

### -設置と配線編-

**HITACHI**  
Inspire the Next

パソコンを使えるようにしよう

1

いろいろな使い方をするために

2

技術情報

3

# Prius Air

マニュアルはよく読み、保管してください。

- 製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
- このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

# 1

# はじめに

## マニュアルを確かめよう

このたびは日立のシステム装置（以下、パソコン）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

次の内容と各マニュアルの内容をよくお読みになり、安全に正しくお使いください。

### マニュアルの構成について

このパソコンには、使い始める準備から使いこなすまでの手引き、マニュアルが付いています。マニュアルには、本書のような紙マニュアルと、画面で見る電子マニュアルがあります。どちらにも役に立つ便利な情報が書かれています。大いに活用して快適なパソコンライフをお楽しみください。

#### 紙マニュアル

##### はじめにお読みください - パソコンの準備 -



##### ●『Prius 取扱説明書 設置と配線編』（本書）

同じ内容が  
電子マニュアルにも  
あります

##### パソコンを使ってみよう！



##### ●『Prius 取扱説明書 パソコン使用編』

同じ内容が  
電子マニュアルにも  
あります

##### パソコンで困ったときは！



##### ●『Prius 取扱説明書 サポート&サービス編』

##### 動画機能を使ってみよう！

##### ●『Prius 取扱説明書 エンターテインメント編』

テレビ機能付き  
モデルにのみ、  
紙マニュアルが  
添付されています



##### 機能を一覧して見てみよう！

##### ●『Prius 製品仕様』



## 電子マニュアル

マニュアルの情報は電子マニュアルにあり、必要な情報を画面ですばやく探すことができます。



### パソコンの接続を確かめるなら



### パソコンとソフトの概要を知るなら



### はじめてパソコンに触るなら



### アプリケーションを楽しむなら



### インターネット・メールを始めるなら



### テレビを見たり DVD を楽しむなら



### もっとパソコンを使うなら



# 電子マニュアルを開こう

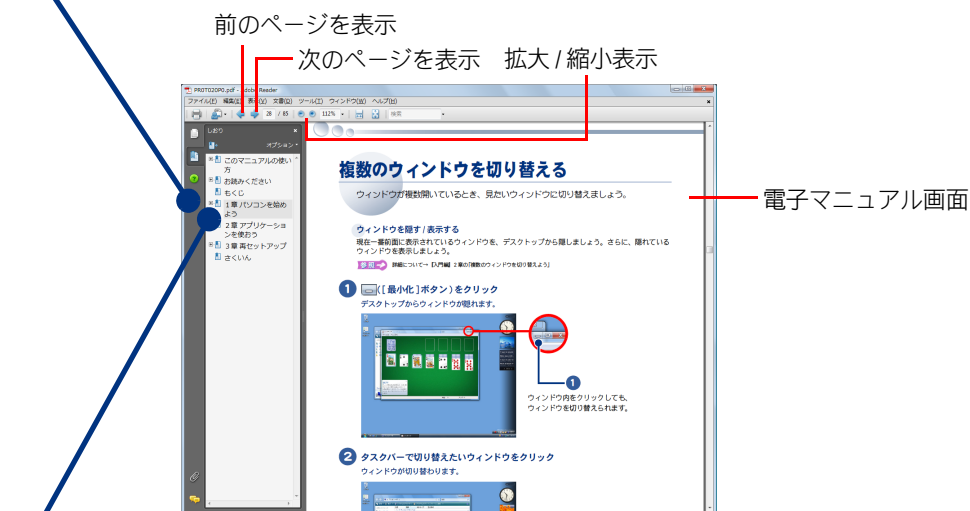
電子マニュアルは、このパソコンのマニュアルを画面で読めるようにしたものです。パソコンが使える状態になったら、電子マニュアルを開いてみましょう。

## 電子マニュアルを開くには

画面上(デスクトップ)のアイコンをダブルクリックして



## 3 [+] をクリックして [-] にして、下の項目を表示する

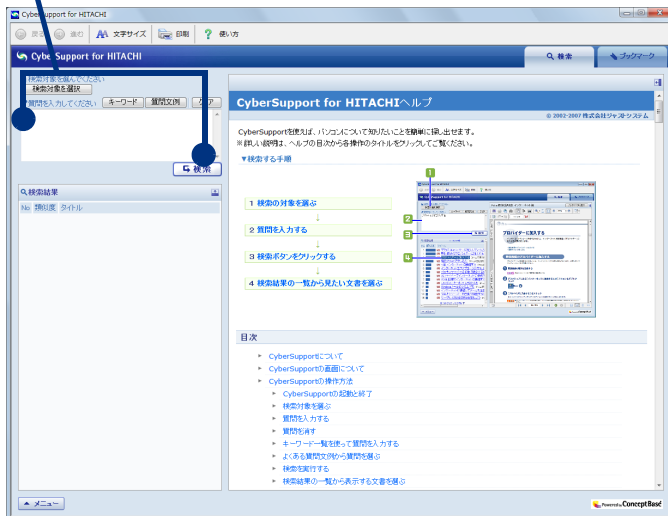


## 4 マウスで項目を選びクリックし、電子マニュアルを読む

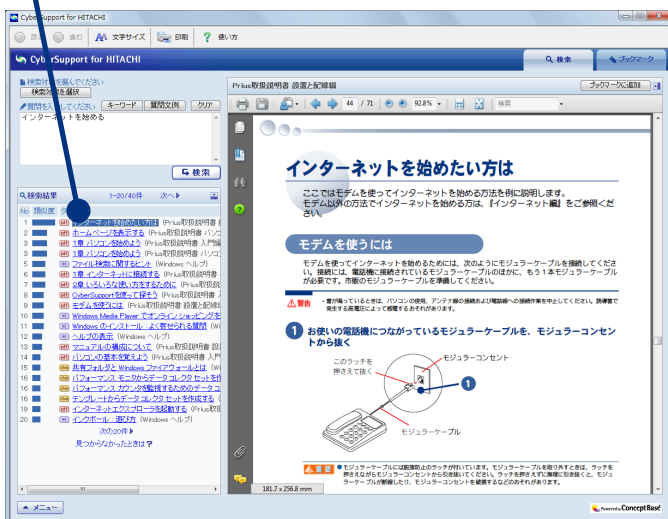
## 電子マニュアルの内容を検索するには

① デスクトップのをダブルクリックする

② 知りたい内容を入力し、検索をクリック






③ 読みたい項目をクリック



● Adobe Reader で表示中の文書ファイルは、CyberSupport で検索すると正しく表示されません。Adobe Reader を終了し、再度 CyberSupport で検索・表示してください。

# お使いになる前に

## マニュアルの表記について

 <b>重要</b>	重要事項や使用上の制限事項を示します。
 <b>ヒント</b>	パソコンを活用するためのヒントやアドバイス、パソコンの用語を解説します。
 <b>参照</b> →	参照先を示します。
CD/DVD ドライブ	DVD スーパーマルチドライブなどの光学式ディスクドライブを表記します。
HDD	ハードディスクドライブを表記します。
FDD	フロッピーディスクドライブを表記します。
FD	フロッピーディスクを表記します。
Windows、Windows Vista	Microsoft® Windows Vista™ Home Premium または、Microsoft® Windows Vista™ Home Basic を表記します。
テレビ機能付きモデル	地上デジタルチューナー、地上アナログチューナーが搭載されている機種を表記します。

- ・ マニュアルで使用している画面およびイラストは一例です。機種によっては、異なる場合があります。説明の都合で、画面のアイコンやイラストのケーブルなど、省略している場合があります。
- ・ URL、お問い合わせ先、画面などは、マニュアル作成時点のものです。

## 保証書について

- ・ 保証書は、所定事項が記入されたものをお受け取りになり、大切に保管しておいてください。
- ・ 保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容に基づいて無料で修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- ・ 保証期間終了後の修理については、Prius 集中修理センターにご相談ください。詳しくは、『サポート & サービス編』3章の「パソコンのサポートについて」をご参照ください。

## 重要なお知らせ

- ・ 本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。
- ・ 本書の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- ・ 本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# パソコンを安全にお使いいただくために

## 安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- ・ 操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。
  - ・ 装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
- これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

## シンボルについて

安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。



これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。



これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。



これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。



これは、装置の重大な損傷、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。



### 【表記例1】感電注意

△の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。



### 【表記例2】分解禁止

⊘の図記号は行ってはいけないことを示し、⊘の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。



### 【表記例3】電源プラグをコンセントから抜け

●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

## 操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。装置について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡ください。

## 自分自身でもご注意を

装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

## ■ 設置時のご注意

### ⚠ 警告



#### 日本国以外での使用

本パソコンは日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより、国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており本パソコンは適合していません。



#### 使用する電源

使用できる電源は交流 100V です。それ以外の電圧では使用しないでください。電圧の大きさによって内部が破損したり過熱・劣化して感電や火災の原因になります。



#### パソコンスタンドの取り付け

縦置きの場合、付属のパソコンスタンドを正しい位置に必ず取り付けてください。取り付けないと、通気孔がふさがり、発煙、発火や故障の原因になります。また、転倒し、けがや故障の原因になります。



#### タコ足配線

同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。



#### 湿気やほこりの多い場所での使用

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気が多い地下室、水泳プールの近傍やほこりや油煙の多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



#### ほこりの除去について

- ・ほこりの多い場所では使用しないでください。本体内部にほこりが溜まることによって、精密部分の冷却を妨げ、故障ややけどの原因になります。
- ・パソコンの周囲は、ほこりを吸わないようにこまめに清掃してください。パソコンの冷却用ファンユニットが目詰まりをおこし、過熱、発煙や故障の原因になります。



#### 周辺機器の増設や接続

周辺機器を増設・接続するときは、電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブル類をパソコンから外してください。また、マニュアルの説明に従い、マニュアルで使用できることが明記された周辺機器を使用してください。それ以外の周辺機器を使用すると、接続仕様の違いによる周辺機器やパソコンの故障から発煙、発火、火災や故障の原因になります。



#### パソコンの移動について

パソコンを移動させるときは、パソコン本体を持って移動してください。ゴム足やパソコンスタンドを持って移動させると、パソコン本体からゴム足やパソコンスタンドが外れ、けがや故障の原因になります。



#### アース線について

感電防止のため、アース線を専門の電気技術者が施工したアース端子に接続してください。接続しないと万一の漏電時に感電の原因になります。

- ・接地作業は本体の電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
- ・アース線を外す場合は、必ず先に本体の電源プラグをコンセントより抜いてから行ってください。
- ・アース線は添付したものの以外は使用しないでください。
- ・アース線は確実に接地がとれる箇所に接続してください。ガス管などへは危険なため、絶対に接続しないでください。



#### ゴム足の取り付け

ゴム足が添付されている機種で横置きの場合、付属のゴム足をパソコンの四隅に必ず取り付けてください。取り付けないと、通気孔がふさがり、発煙、発火や故障の原因になります。また、転倒し、けがや故障の原因になります。



## 注意



### 信号ケーブルについて

- ・ ケーブルは足などに引っかけないように、配線してください。足をひっかけると、けがや接続機器の故障の原因になります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。
- ・ ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。



### 不安定な場所での使用

傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

## 使用前のご注意

## 警告



### 温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、発火や感電の原因になります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。



### 梱包用ポリ袋について

パソコンの梱包用エアークャップなどのポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると窒息するおそれがあります。



### 電源コードの取り扱い

電源コードは必ず付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したりショートや一部断線で、過熱して感電や火災の原因になります。

- ・ ものを載せない
- ・ 引っ張らない
- ・ 押しつけない
- ・ 折り曲げない
- ・ 加工しない
- ・ 熱器具のそばで使わない
- ・ 束ねない
- ・ ほかのパソコンに使用しない

## 使用時のご注意

## 警告



### 異常な熱さ、煙、異常音、異臭

万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りにはものを置かないでください。



### 揮発性液体の近くでの使用

マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、パソコンの近くで使わないでください。パソコンの中に入って引火すると火災の原因になります。



### 通気孔について

通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。

- ・通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。
- ・本体底面がふさがれるような布、じゅうたんなどの上には置かないでください。本体内部への通気が損なわれ、発煙、発火ややけどなどの原因になります。
- ・本体側面にものを置いたり、立てかけたりしないでください。本体内部への通気が損なわれ、発煙、発火ややけどなどの原因になります。



### 電話線またはテレビアンテナ線への接続と使用

雷が鳴っているときは、パソコンの使用、テレビアンテナ線の接続および電話線への接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

## 注意



### 小さなお子様などの使用時

小さなお子様などがお使いになるときは、必ず大人の方の見守りが必要です。トレイやパネルに指を挟んだりして、けがの原因になります。



### 眼精疲労について

ディスプレイを見る作業を行うときは、作業場を300～1000ルクスの明るさにしてください。また、連続作業するときは、1時間に10分から15分程度の休息をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。



### ヘッドホンやイヤホン

ヘッドホンやイヤホン使用時は、適度な音量でご使用ください。音量が大きすぎると難聴になるおそれがあります。



### トレイの開閉

CD/DVDドライブのトレイはディスク(CD、DVD)を装着、取り出しするとき以外は必ず閉じて使用してください。手などがぶつかったり指を挟んだりして、けがの原因になります。また塵埃の浸入による故障の原因になります。



### 光デジタルオーディオ出力端子について

光デジタルオーディオ出力端子からの信号ケーブル先端部の赤い光を長時間見続けしないでください。眼を痛める原因になります。



### 光学式マウスについて

マウスの底面から発せられる赤い光を直接見ると、眼を痛める場合があります。赤い光を直接見ないでください。

## ■ 保管時のご注意

### ⚠ 警告



#### 電池の取り扱い

電池は次のことに注意してお取り扱いください。取り扱いを誤ると、液漏れ、過熱・破裂・発火し、火災やけがの原因になります。

- ・ 電池の+、-を正しく入れる
- ・ 火の中に入れない
- ・ ショートさせたり、分解、加熱しない
- ・ 指定以外の電池は使用しない
- ・ 電池の+、一部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
- ・ 電池を金属製のピンセットなどでつかまない



#### パソコンの電源 OFF について

パソコンの電源を切っても、一部の回路には通電しています。休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグを抜いてください。万一、部品破損時には火災の原因になります。



#### 電池の廃棄

取り外した電池を廃棄するときは、お買い求め先に相談していただくか、地方自治体の条例または規則に従ってください。



#### 電池の保管

- ・ 電池を保管する場合は、端子に絶縁テープをはり、絶縁状態にしてください。絶縁状態にしないで電池を保管すると、端子間どうしが接触ショートし過熱・破裂・発火などでけがをしたり、火災の原因になります。
- ・ 電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、気道を確保しながら直ちに医師にご相談ください。

### ⚠ 注意



#### 乾電池の使用について

リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外してください。取り外さないと、液漏れによりやけどをしたり、リモコンが故障するおそれがあります。

## ■ 作業時のご注意

### ⚠ 警告



#### モデム部分への接触

内部に触れる必要があるときは、モジュラーケーブル（電話線）を抜いてください。呼び出し（ベル）着信時および雷が鳴っているとき感電するおそれがあります。



#### 電話線またはテレビアンテナ線への接続と使用

雷が鳴っているときは、パソコンの使用、テレビアンテナ線の接続および電話線への接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

## 注意



### 部品の追加・交換

電源を切った直後は、カバーや内部の部品が熱くなっています。約30分、時間をおいてから行ってください。やけどの原因になります。



### 金属など端面への接触

パソコンの移動、部品の追加などで金属やプラスチックなどの端面に触れる場合は、注意して触れてください。または、綿手袋を着用してください。けがをするおそれがあります。

## 注意



### ボードの取り扱いについて

ボードを取り扱う場合は、静電気をあらかじめ取り除くか、綿手袋などを着用してください。静電気を取り除かないで、コネクタ部などの電気部品に触れると壊れるおそれがあります。



### LAN コネクタについて

LAN コネクタには、LAN ケーブルを接続してください。LAN ケーブル以外のケーブルを接続すると、故障するおそれがあります。

## 一般的なご注意

## 警告



### 修理・改造・分解

本書の指示に従って行うオプションなどの増設作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。

特に電源ユニット内部は高電圧部が数多くあり、万一さわると危険です。



### 装置内部への異物の混入

通気孔などから内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。



### 落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけるなど過大な衝撃を与えないでください。内部に変形や劣化が生じ、そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。



### 装置上に物を置く

花びん、植木鉢など水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属物を置かないでください。内部に入った場合、そのまま使用すると、感電や発煙、発火の原因になります。



### パソコンカバーの取り外し

パソコンカバーを取り外すときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブル類やカード類をパソコンから外してから行ってください。パソコンの電源を切っても、一部の回路には通電しているため、思わぬ接触など作業の不具合発生時に故障や劣化による火災の原因になります。



### 電源プラグの接触不良やトラッキング

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

- ・電源プラグは、根元までしっかり差し込む
- ・電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込む。付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってから、差し込む
- ・ぐらぐらしないコンセントを使用する



#### 電源スイッチについて

電源スイッチを OFF にしても、一部の回路には通電されています。休暇や旅行など長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。万一、部品破損時には発煙・発火の原因になります。



#### 電源プラグの抜き差し

- ・電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コード部分を引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。
- ・休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。
- ・電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。

## ⚠ 注意



#### 接続端子への接触

USB コネクターなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙したり接触不良などにより故障の原因になります。



#### 液晶ディスプレイ部の破損

液晶ディスプレイ部はガラスでできています。液晶ディスプレイ部が破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをするおそれがあります。



#### 目的以外の使用

踏み台やブックエンドなど、パソコン本来の目的以外に使用しないでください。壊れたり、倒れたりし、けがや故障の原因になります。

## 注意



#### バックアップについて

ハードディスク装置のデータなどの重要な内容は必ず補助記憶装置にバックアップを取ってください。ハードディスク装置が壊れると、データなどがすべてなくなってしまいます。



#### スタンドについて

スタンドを取り付けた状態で、パソコンを傾けないでください。スタンドが壊れることがあります。



#### モジュラーケーブルの接続について

モジュラーケーブルは、2線式をご使用ください。故障の原因になります。2線式以外のケーブルの使用により発生した不具合については保証いたしません。

### 注意



#### パソコンの廃棄

本製品を廃棄する場合は、適切なリサイクル処理をお願いします。  
「資源の有効な利用の促進に関する法律（通称：改正リサイクル法）」にもとづき、パソコン製造事業者である弊社は、お客さまのご依頼にもとづく事業者（法人所有）向けのパソコンの回収リサイクルサービスと、ご家庭（個人所有）向けの回収リサイクルサービスを提供しています。当該サービスでは回収リサイクルの効果を向上させるなど、法律の趣旨に的確に対応していますので、ご利用ください。



#### 電波障害について

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- ・ テレビやラジオなどからできるだけ離す
- ・ テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- ・ コンセントを別にする

# もくじ

## はじめに

### マニュアルを確かめよう

マニュアルの構成について	
電子マニュアルを開こう	2

### お使いになる前に

 4

マニュアルの表記について	4
保証書について	4
重要なお知らせ	4

### パソコンを安全にお使いいただくために

 5

### もくじ

 13

## 1章 パソコンを使えるようにしよう

### 同梱品を確かめよう

 16

同梱品一覧表で確認しよう	16
液晶ディスプレイの箱には	17
保証書を確認しよう	17

### 各部の名前を知っておこう

 18

液晶ディスプレイ	18
パソコン正面	19
パソコン背面	21
キーボード	22
リモコン(テレビ機能付きモデルのみ)	25

### 接続しよう

 27

置き場所や姿勢について	27
パソコンを設置しよう	28
リモコンに電池を入れよう(テレビ機能付きモデルのみ)	31
キーボードとマウスを接続しよう	32
パソコンを接続しよう	34

### 電源を入れよう

 37

電源を入れよう	37
---------	----

## 2章 いろいろな使い方をするために

インターネットを始めたい方は	40
モデムを使うには	40
テレビを見たい方は(テレビ機能付きモデルのみ)	42
アンテナ線と接続する	42
パソコンにアンテナを接続する	44
B-CAS カードを取り付ける	45
電話回線をモデムに接続する	46
ほかの周辺機器を使うときは	47
ディスクを使うときは	48
CD/DVD ドライブのディスクの入れ方/取り出し方	48
FD の入れ方/取り出し方	49
パソコンカバーの取り外し/取り付け	51
作業時の注意点	51
取り外し手順	51
取り付け手順	53
メモリーボードを取り付ける	54
メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせ方	54
取り付け手順	55
取り外し手順	56

## 3章 技術情報

ドライブの仕様	58
DVD スーパーマルチドライブ(DVD ± R 2層書き込み対応)の仕様	58
メモリーボードの仕様	60
有寿命部品一覧	61
オプション情報	62
さくいん	63





# 1

## 1章 パソコンを使えるようにしよう

この章では、パソコンを使えるようにするための準備や、パソコン各部の名前、働きについて説明します。

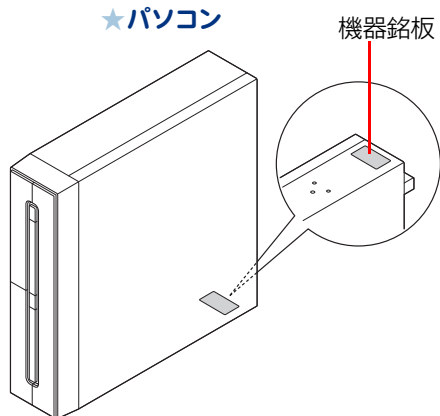
- >> ・ 同梱品を確かめよう (P.16)
- >> ・ 各部の名前を知っておこう (P.18)
- >> ・ 接続しよう (P.27)
- >> ・ 電源を入れよう (P.37)

# 同梱品を確かめよう

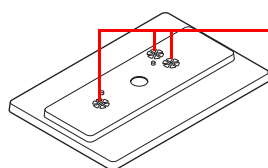
箱を開けたら、箱の中に入っている同梱品がすべてそろっていることを『同梱品一覧表』で確認しましょう。万一不足があるときは、安心コールセンターにお問い合わせください。

## 同梱品一覧表で確認しよう

### ★パソコン



### ★パソコンスタンド

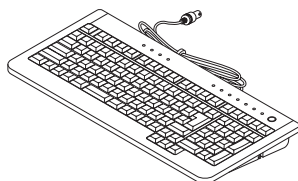


★スタンド取り付けネジ  
(3個)

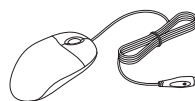
★ゴム足4個



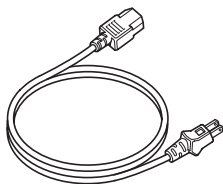
### ★キーボード



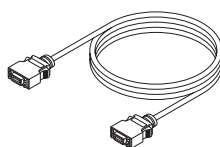
### ★マウス



### ★電源コード (パソコン用)



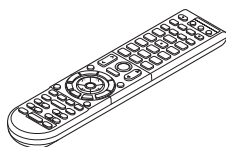
### ★D端子ケーブル



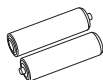
### ★アース線



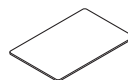
### ★リモコン



### ★単3形アルカリ乾電池 (2個、リモコン用)



### ★B-CASカード



#### ※ ヒント

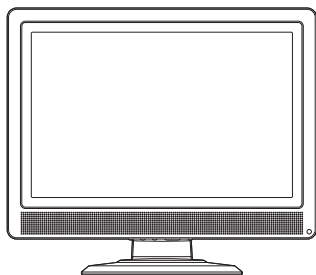
- パソコンの形名を確認するには  
機器銘板に形名や製造番号が記載されています。  
機器銘板の貼り付け位置は、変更される場合があります。ご了承ください。
- パソコンスタンドには、スタンド取り付けネジがあらかじめ実装されています。

#### ▲ 重要

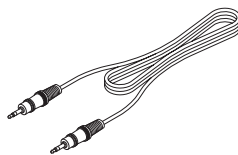
- テレビ機能付きモデルのみ、D端子ケーブル、リモコン、単3形アルカリ乾電池(2個、リモコン用)、B-CASカードが同梱されています。

## 液晶ディスプレイの箱には

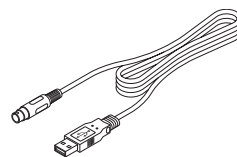
★ 19 型液晶ディスプレイ



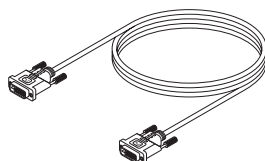
★オーディオケーブル



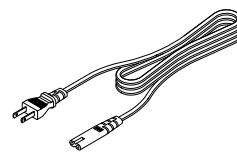
★専用コントロール/  
リモコン端子ケーブル



★ディスプレイケーブル  
(DVI ケーブル)



★電源コード (ディスプレイ用)



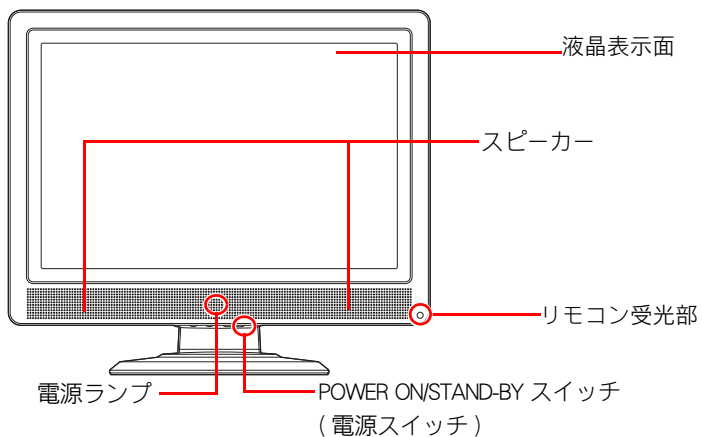
## 保証書を確認しよう

### 保証書

保証書は、パソコンの箱にはり付けてあります。大切に保管してください。パソコンの製造番号と保証書の番号が、同じであることをご確認ください。万一違う場合は、すぐに安心コールセンターにお問い合わせください。

# 各部の名前を知っておこう

## 液晶ディスプレイ



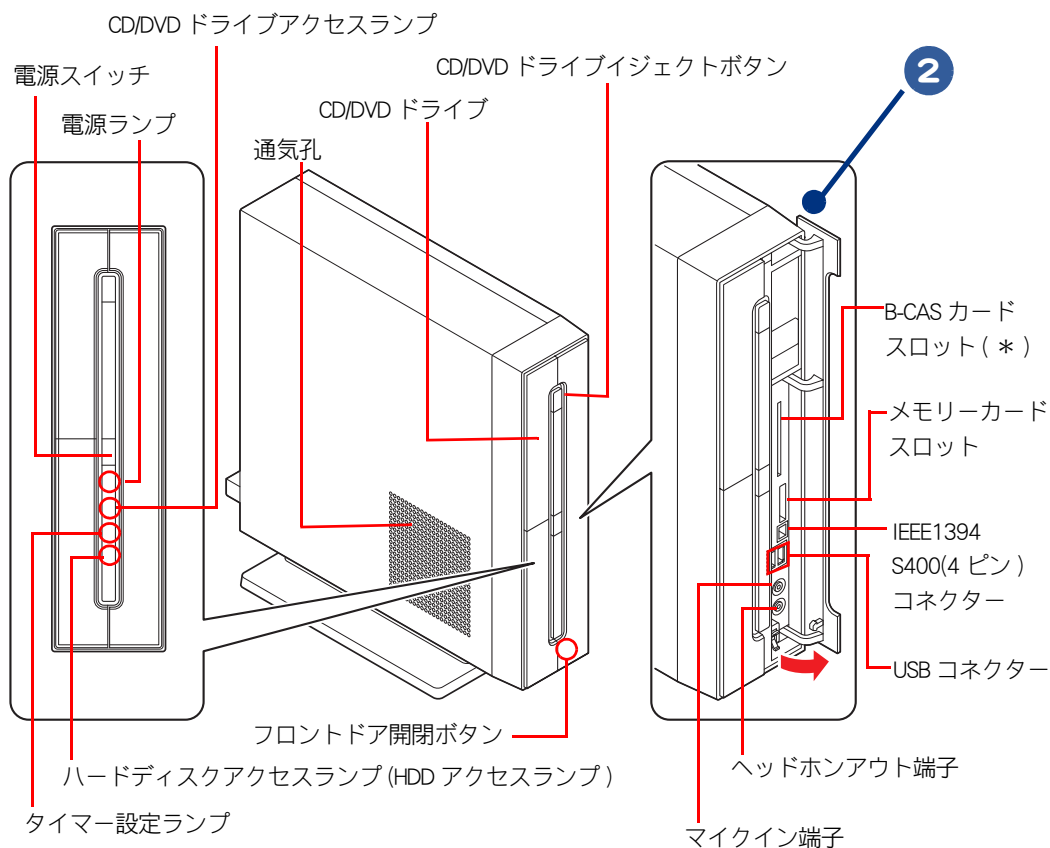
- ※ ヒント**
- 液晶ディスプレイの各部の名前については、ディスプレイのマニュアルをご参照ください。
  - リモコン受光部は、テレビ機能付きモデルでのみ使用します。

# パソコン正面

パソコン正面のフロントドアを開けると、いろいろなコネクタがあります。

## 1 フロントドアの開閉ボタンを押す

## 2 フロントドアを手前に開ける



(\*) テレビ機能付きモデルのみ



**重要** ● フロントドアに、無理に力を加えないでください。フロントドアが破損する場合があります。

## 電源ランプ

ランプの発色でパソコンの動作状態を確認できます。

パソコンの状態	電源ランプ	備考
PowerOFF (電源切)時 または、 パソコン休止状態	オレンジ色に点灯	パソコンの電源が切れている (ACコンセントからは通電している)
PowerON (電源入)時	緑色に点灯	パソコンが起動している
スリープ状態	オレンジ色に点滅	節電機能が働いている
HDDの節電時	緑色に点灯	
電源OFF時	消灯	電源コードが外されている

## CD/DVDドライブアクセスランプ

ランプの状態でCD/DVDがデータを読み書きしているか確認できます。

パソコンの状態	CD/DVDドライブ アクセスランプの状態	備考
CD/DVDドライブ アクセス時	緑色に点滅	CD/DVDがデータの読み書きをしている

## タイマー設定ランプ

ランプの発色で録画予約の状態を確認できます。

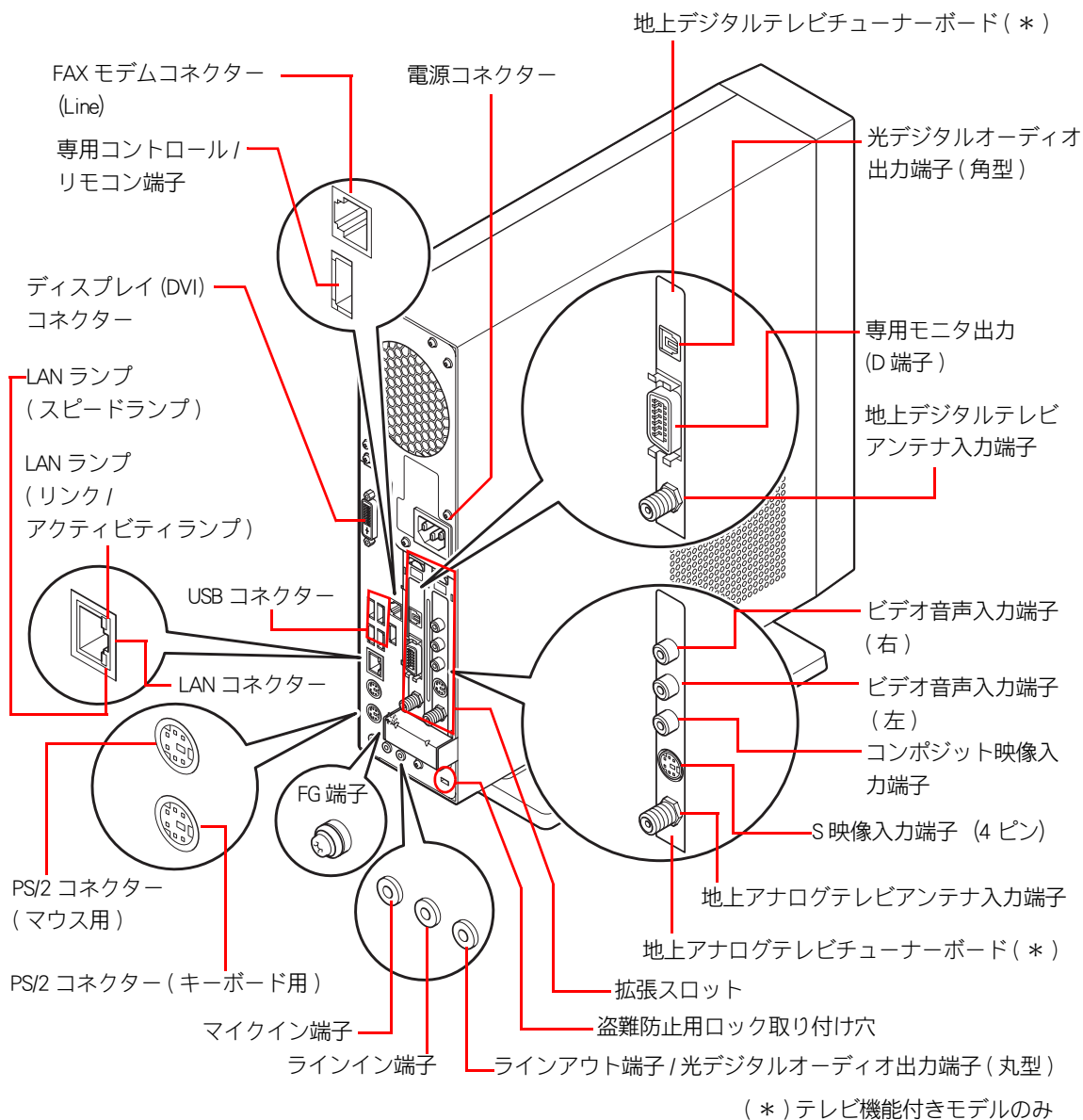
パソコンの状態	タイマー設定ランプの状態	備考
録画予約中	赤色に点灯	録画予約が設定されている
予約録画中	赤色に点滅	予約した番組を録画している
録画予約なし	消灯	録画予約が設定されていない

## ハードディスクアクセスランプ (HDDアクセスランプ)

ランプの状態で、HDDがデータを読み書きしているか確認できます。

パソコンの状態	HDDアクセスランプの状態	備考
HDDアクセス時	緑色に点滅	HDDがデータの読み書きをしている

# パソコン背面



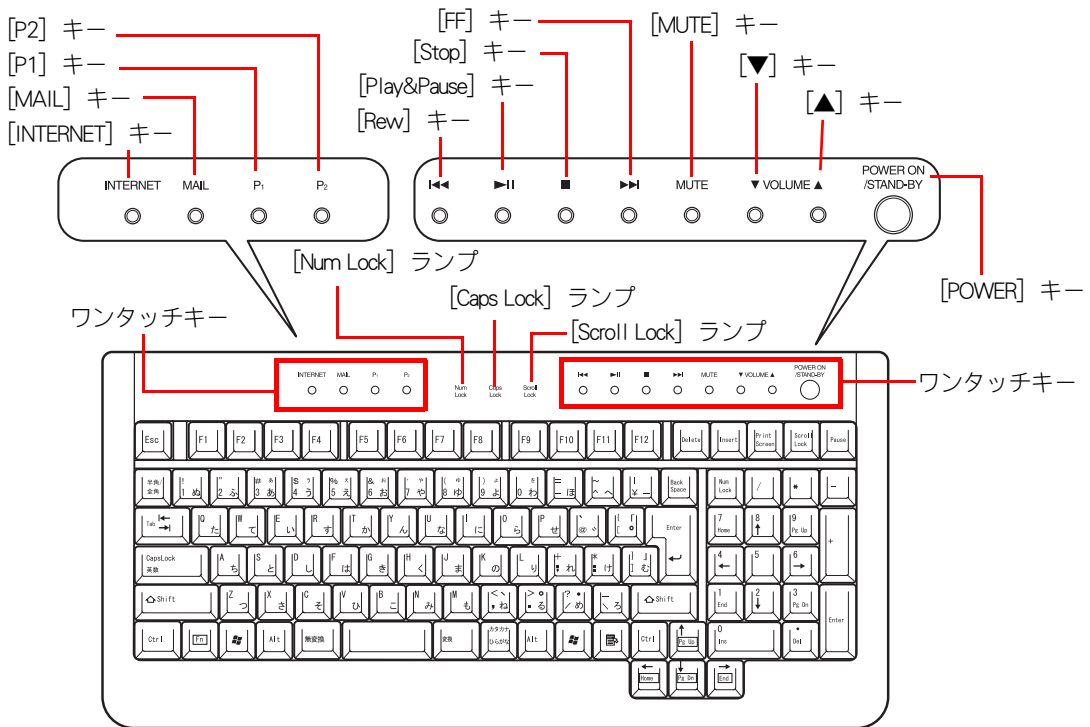
1

パソコンを使うようにしよう

## LAN ランプ

ランプ	点灯状態	通信の状態
スピードランプ	オレンジ色点灯	1000Mbps で接続中
	緑色点灯	100Mbps で接続中
	消灯	10Mbps で接続中
リンク/アクティビティランプ	黄色点滅	データ送受信中
	黄色点灯	データ送受信を行っていない
	消灯	リンクが確立されていない

# キーボード



## [Num Lock] ランプ

点灯：[Num Lock] キーを押すと、切り替えられます。  
キーボードのテンキーの数字などの入力ができます。  
消灯：[↑] [↓] [←] [→] キーなどが入力できます。

## [Caps Lock] ランプ

[Shift] キーを押しながら [Caps Lock] キーを押すと、切り替えられます。  
点灯：大文字のアルファベットが入力できます。  
消灯：小文字のアルファベットが入力できます。















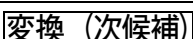
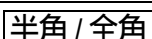
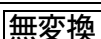
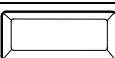

## [Scroll Lock] ランプ


[Scroll Lock] キーを押すと切り替えられます。ランプが点灯しているときは、表示画面を移動できません。ランプが消灯すると移動できるようになります。ソフトウェアによって動作が異なる場合があります。

**※ヒント** ● [Num Lock] [Caps Lock] [Scroll Lock] のインジケータを画面に表示させることもできます。

**参照** → 画面表示について → 『パソコン応用編』 1章の「ワンタッチキーを設定する」



キー	使い方
テンキー	数字を入力するときに使います。
 ~ 	ファンクションキーといいます。アプリケーションソフトなどで、特定の機能を割り当てて使います。
   	カーソルキーといいます。カーソルをキーの矢印の方向に動かすときに使います。
   	ほかのキーと組み合わせて使います。
文字キー	文字を入力するときに使います。
	カーソルの前（左）の文字を削除するときに使います。
	カーソルの後ろ（右）の文字を削除するときに使います。
	文字の入力方法を、挿入モードか上書きモードに切り替えます。
	日本語入力の確定や改行などに使います。
	操作を取り消したりするときに使います。
	タブを挿入するときなどに使います。
	[Shift] キーを押しながらこのキーを押すと、標準では英大文字の入力モードになります。
	テンキーで数字を入力するモードに切り替えます。
	画面表示の制御に使います。
	日本語入力で読みを漢字に変換します。
	日本語入力をオン/オフするときに使います。
	日本語入力のときに、無変換モードにします。
 (スペース)	1文字分のスペース（空白）を入力したり、読みを漢字に変換するときに使います。
	カーソルを行の先頭に移動するときに使います。
	カーソルを行の末尾に移動するときに使います。

キー	使い方
	ページをスクロールするときに使います。

**※ヒント** ● Home、End、Pg Up、Pg Dn は、[Fn] キーを押しながら [←]、[→]、[↑]、[↓] キーを押します。

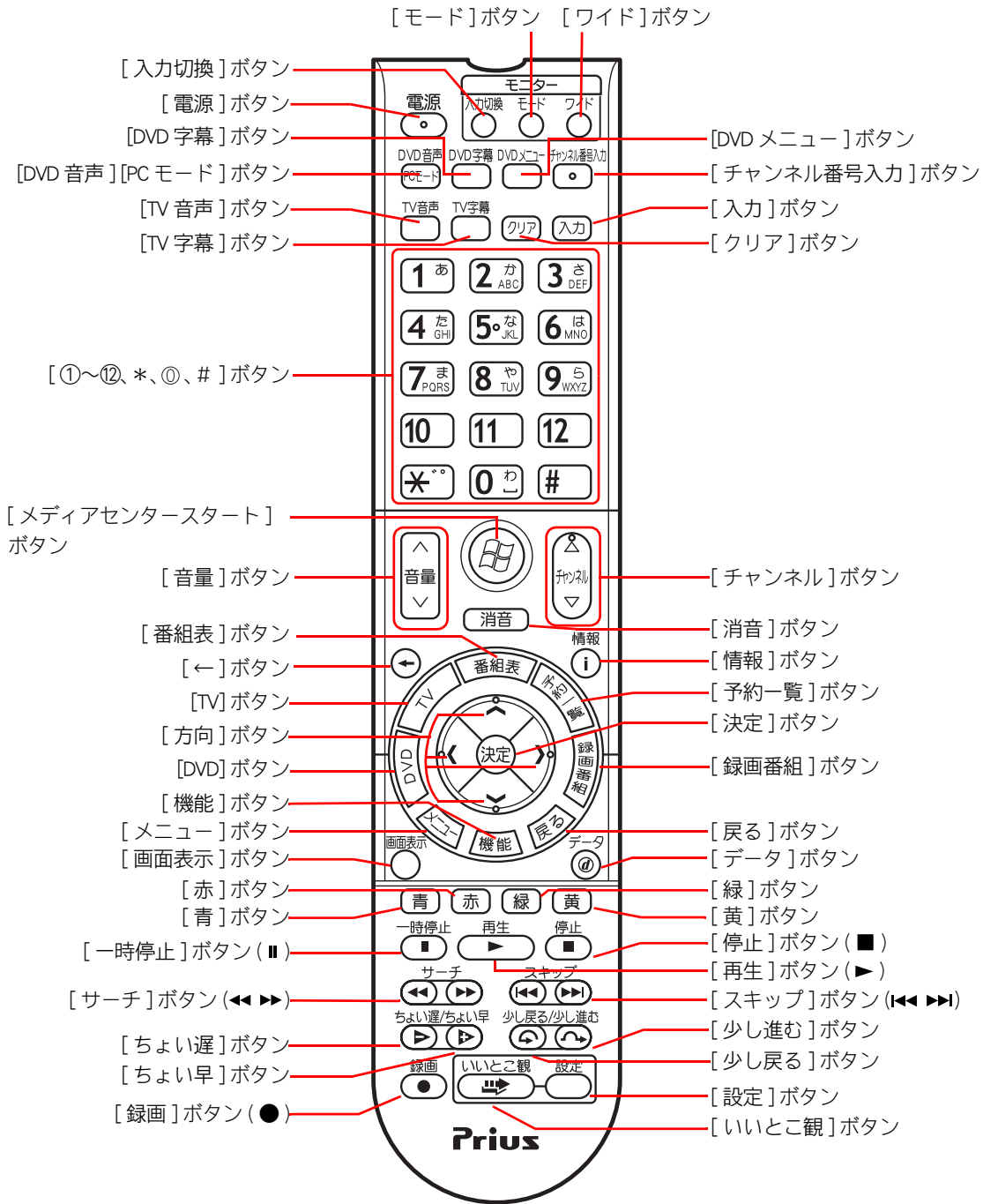
キー	使い方
	Windows キーといいます。スタートメニューを表示させるときに使います。
	プログラムキーといいます。マウスを右クリックしたときと同じ働きをします。
 (Stop)	DVD-ROM や CD-ROM などの再生を停止するときに使います。
 (Play&Pause)	DVD-ROM や CD-ROM などを再生したり、一時停止するときに使います。
 (Rew)	DVD-ROM や CD-ROM などの再生時に前のトラックに戻すときに使います。
 (FF)	DVD-ROM や CD-ROM などの再生時に次のトラックへ進めるときに使います。
 (VOLUME)	スピーカーの音量を下げるときに使います。
 (MUTE)	スピーカーの音を消したり元に戻すときに使います。
 (VOLUME)	スピーカーの音量を上げるときに使います。
 (INTERNET)	インターネットをワンタッチで立ち上げるときに使います。
 (MAIL)	メールソフトをワンタッチで立ち上げるときに使います。
 (POWER)	パソコンの電源を入れたり切ったりできます。
	各キーに割り当てられているアプリケーションをワンタッチで立ち上げるときに使います。

**参照** → キーボードの使い方について → 【入門編】 1 章の「キーボードを使う」

**参照** → ワンタッチキーの設定変更について → 【パソコン応用編】 1 章の「ワンタッチキーを設定する」

**※ヒント** ● リモコンの [電源] ボタンでもパソコンの電源を入れたり切ったりできます。

# リモコン(テレビ機能付きモデルのみ)



項目	説明
[電源]ボタン	パソコンの電源を ON にします。パソコン起動中は、スリープ状態または休止状態にします。
[入力切換]ボタン	使用できません。
[モード]ボタン	液晶ディスプレイの映像モードを操作できます。
[ワイド]ボタン	液晶ディスプレイのワイド設定を操作できます。
[DVD 音声]ボタン/ [PC モード]ボタン	DVD の音声を切り替えます。 / 使用できません。
[DVD 字幕]ボタン	DVD の字幕の ON / OFF を切り替えます。
[DVD メニュー]ボタン	DVD 再生時にメインメニューを表示します。
[クリア]ボタン	チャプター番号、トラック番号の指定を取り消します。
[入力]ボタン	CD/DVD 再生時に [⓪] ~ [⑨] ボタンで指定したチャプター番号、トラック番号に進みます。
[①~⑫、*、⑩、#] ボタン	CD/DVD 再生時に [⓪] ~ [⑨] ボタンでチャプター番号、トラック番号を指定します。
[メディアセンタースタート] ボタン	Windows Media Center を起動します。
[音量]ボタン	音量を上げたり、下げたりします。
[消音]ボタン	スピーカーの音を消します / 元に戻します。
[←]ボタン	画面上の [戻る] ボタンをクリックしたときと同じ働きをします。ひとつ前の画面に戻ります。
[情報]ボタン	動作中の機能に応じたメニューを選択するウィンドウが表示されます。
[決定]ボタン	方向ボタンで選んだ項目などを決定します。
[方向]ボタン	カーソルを上下左右に移動します。
[一時停止]ボタン	⏸ 一時停止します。
[再生]ボタン	▶ 再生します。
[停止]ボタン	■ 停止します。
[サーチ]ボタン	⏮ ⏭ 早送り / 早戻しします。
[スキップ]ボタン	⏮ ⏭ 次 / 前のチャプターやトラックに移動します。

- 重要**
- リモコンは本パソコン専用です。ほかのパソコンでは使用できません。
  - 説明のないボタンは、搭載ソフトウェアにより機能が異なります。テレビの操作については、『エンターテインメント編』をご参照ください。

- ※ヒント**
- [消音] ボタン  
有効になっていると、Windows を起動したときも音は鳴らなくなります。

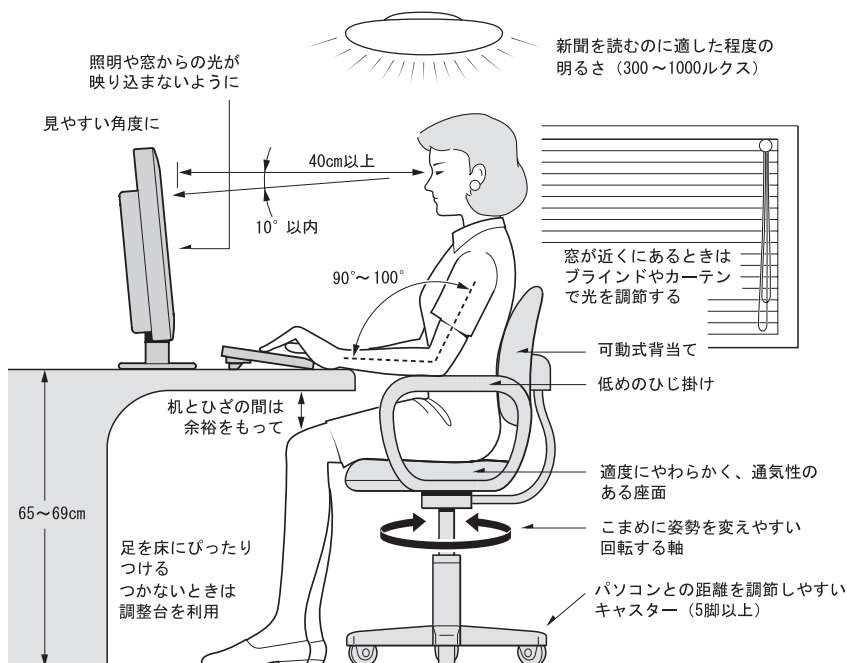
- 参照** → ・ [電源] ボタンのスリープ状態 / 休止状態の設定方法について → 『パソコン応用編』 2 章の「すぐに節電する」

# 接続しよう

パソコンの置き場所を決めてから、接続しましょう。

## 置き場所や姿勢について

パソコンを使う場所によっては、パソコンに思わぬトラブルを起こす可能性があります。パソコンを正しく使うために、パソコンを使うときに適した場所と姿勢について知っておきましょう。



参照：日本人間工学会 ノートパソコン利用の人間工学ガイドライン (1998年 労働科学研究所発行)

- ・ パソコンのディスプレイは、体の正面に設置し、見やすい角度に調整する。
- ・ ディスプレイの照度、明るさと周囲の照明を適度に調節し、ディスプレイの反射を抑える。
- ・ 明るさコントラストなどを見やすいように調整する。
- ・ キーボードやマウスを使うときは、手首とひじは水平になるような位置を保つ。
- ・ パソコンの作業時間は、1日に最大6時間を目安とし、1時間ごとに10～15分の休息をとる。
- ・ キーボードは、裏側についている足で、使いやすい角度に調整する。
- ・ 周辺機器を接続しても余裕のある、十分な作業空間を確保する。
- ・ 不自然な姿勢を避け、ときどき姿勢を変える。

### 警告

- ・ 浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気が多い地下室、水泳プールの近傍やほこりや油煙の多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。
- ・ ほこりの多い場所では使用しないでください。本体内部にほこりが溜まることによって、精密部分の冷却を妨げ、故障ややけどの原因になります。
- ・ パソコンの周囲は、ほこりを吸わないようにこまめに清掃してください。パソコンの冷却用ファンユニットが目詰まりをおこし、過熱、発煙や故障の原因になります。

### 注意

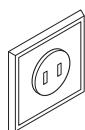
- ・ 傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

## パソコンを設置しよう

このパソコンは、縦置きでも横置きでも設置できます。  
設置する場所に合わせて、置き方を決めましょう。

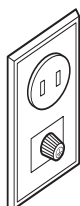
### ■ コンセントの位置を確認しよう

次のコンセント類が、パソコンに設置する場所にあるか、ご確認ください。コンセント類とパソコンを接続するケーブルが届く位置にパソコンの位置を決めてください。これは代表的な例です。



電源コンセント 2 個

プリンターなど、周辺機器を接続する場合は、さらにその個数分必要です。

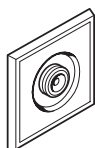


アース端子 1 個

本体の FG 端子とアース端子をアース線で接続するときに必要です。



アース端子の接続方法 → 「パソコンを接続しよう」(P.34)

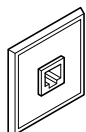


アンテナ端子 1 個 (テレビ機能付きモデルのみ)

テレビを見るときに必要です。



テレビアンテナ端子の接続方法 → 「テレビを見たい方は (テレビ機能付きモデルのみ)」(P.42)



モジュラーコンセント 1 個

モデムを使ってインターネットに接続するときに必要です。



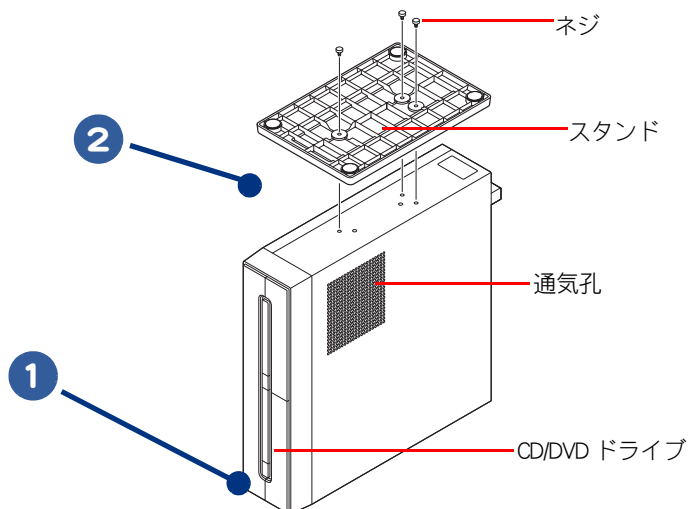
モジュラーケーブルの接続方法 → 「モデムを使うには」(P.40)

## ■ 縦置き

パソコンを縦置きにするときは、パソコンスタンド（以下、スタンド）を取り付けてください。スタンドは、次のように取り付けます。

### 1 CD/DVD ドライブが下になるように、パソコンを縦に置く

### 2 スタンドのネジと、パソコンのネジ穴を合わせ、3箇所ネジで固定する



**重要** ● スタンドを取り付けるときは、パソコン前面のドアを強く押さえないでください。壊れることがあります。

### 3 スタンドを下にして、パソコンを置く



**重要** ● 8cm の CD/DVD を使用される場合は、パソコンを横置きにしてご使用ください。

#### 警告

- ・縦置きの場合、付属のパソコンスタンドを正しい位置に必ず取り付けてください。取り付けないと、通気孔がふさがり、発煙、発火や故障の原因になります。また、転倒し、けがや故障の原因になります。
- ・通気孔部分に物を置いたり立てかけたりしないでください。通気孔がふさがれると内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。
- ・パソコンを移動させるときは、パソコン本体を持って移動してください。ゴム足やパソコンスタンドを持って移動させると、パソコン本体からゴム足やパソコンスタンドが外れ、けがや故障の原因になります。
- ・パソコンスタンドを取り付けるときは、3ヶ所のネジを根元までしっかりと固定してください。不安定な状態で使用すると、パソコンが転倒してけがや故障の原因になります。

#### 注意

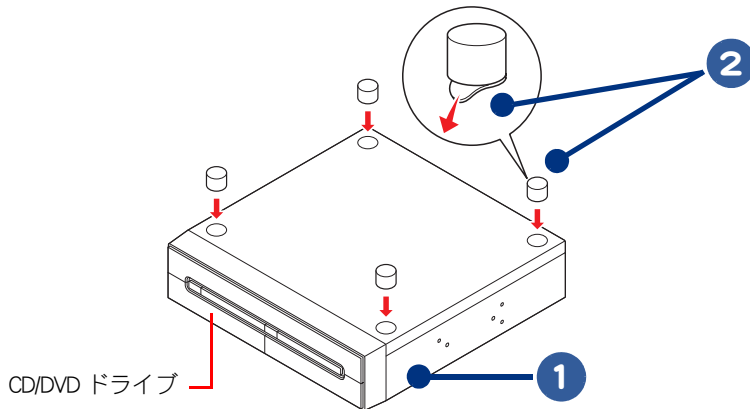
- ・スタンドを取り付けた状態で、パソコンを傾けないでください。スタンドが壊れることがあります。

## ■ 横置き

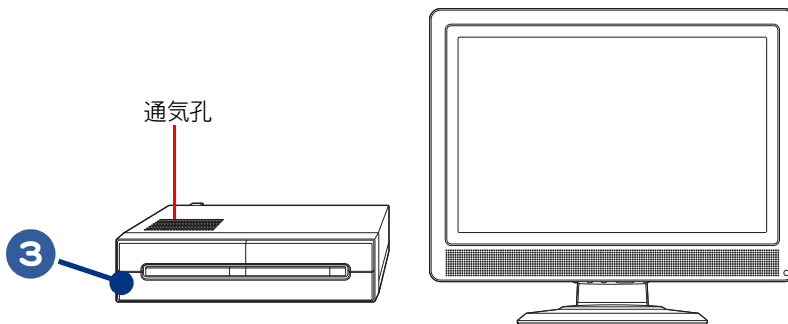
パソコンを横置きにする場合は、付属のゴム足 4 個を取り付けます。

1 CD/DVD ドライブが下になるように、パソコンを横に置く

2 次のイラストを参考に、ゴム足 4 個のシールをとり、パソコンの四隅にはり付ける



3 ゴム足を下にして、パソコンを置き、ディスプレイを横に置く



- 重要**
- パソコンを横置きにして使用する場合、付属のディスプレイは、パソコンの上に設置しないでください。耐重量オーバーや設置物による発熱などにより、破損や誤作動、故障の原因になります。
  - ゴム足を接着するパソコンの面に、ゴミ、油などの汚れがある場合は、ふきとってください。
  - 8cm の CD/DVD を使用される場合は、パソコンを横置きにご使用ください。

### 警告

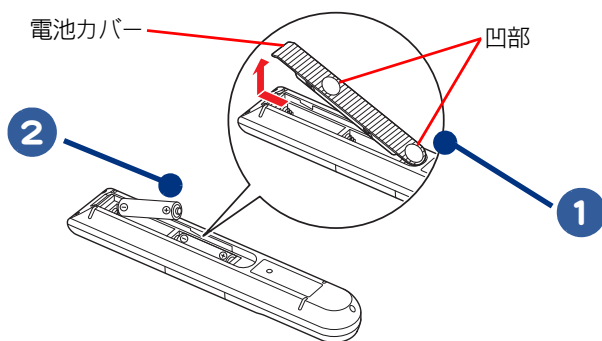
- ・ 横置きの場合、イラストを参考に、付属のゴム足をパソコンの四隅に必ず取り付けてください。取り付けないと、通気孔がふさがり、発煙、発火や故障の原因になります。また、転倒し、けがや故障の原因になります。
- ・ 通気孔部分に物を置いたり立てかけたりしないでください。通気孔がふさがれると内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。
- ・ パソコンを移動させるときは、パソコン本体を持って移動してください。ゴム足やパソコンスタンドを持って移動させると、パソコン本体からゴム足やパソコンスタンドが外れ、けがや故障の原因になります。



# リモコンに電池を入れよう(テレビ機能付きモデルのみ)

同梱のリモコンに電池を入れましょう。

- 1 電池カバーの凹部を指で押さえながら、矢印方向にスライドさせて開ける
- 2 プラス (+)、マイナス (-) を確認して、単 3 形のアルカリ乾電池を 2 本入れる



## 3 電池カバーを閉める

- 重要**
- リモコン送信部とディスプレイの受信部の位置により、操作範囲が変わります。正面の場合は 5m 以内、左右 15° ずれる場合は 3m 以内です。ただし、直射日光が当たるなど、周囲環境によっては、操作範囲が狭くなることがあります。
  - リモコンの乾電池寿命は、通常約 2 年(アルカリ乾電池使用時)です。なお、使用頻度が高い場合、電池寿命は短くなります。
  - 長期間使用しない時は、乾電池を取り出してください。リモコンを使用せずに放置していても乾電池が消費されます。

## 電池の取り扱いについて

リモコンの電池の取り扱いについて知っておきましょう。

- 警告**
- ・ 電池は次のことに注意してお取り扱いください。取り扱いを誤ると、液漏れ、過熱・破裂・発火し、火災やけがの原因になります。
    - 電池の+、-を正しく入れる
    - 火の中に入れてない
    - ショートさせたり、分解、加熱したりしない
    - 指定以外の電池は使用しない
    - 電池の+、一部に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない
    - 電池を金属製のピンセットなどでつかまない
    - 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく
  - ・ 電池を保管する場合は、端子に絶縁テープをはり、絶縁状態にしてください。絶縁状態にしないで電池を保管すると、端子間どうしが接触ショートし過熱・破裂・発火などでけがをしたり、火災の原因になります。
  - ・ 電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、気道を確保しながら直ちに医師にご相談ください。

- 注意**
- ・ リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外してください。取り外さないと、液漏れによりやけどをしたり、リモコンが故障するおそれがあります。

### 重要

- 必ず指定の乾電池を使用してください。ニッカド電池など電圧の異なるほかの電池は使用しないでください。故障するおそれがあります。
- 電池が2本入っている場合、交換するときは2本とも新しい電池と交換してください。古い電池と新しい電池をあわせて使用しないでください。
- 同梱品の乾電池は動作確認用です。乾電池寿命は保証できません。

### ヒント

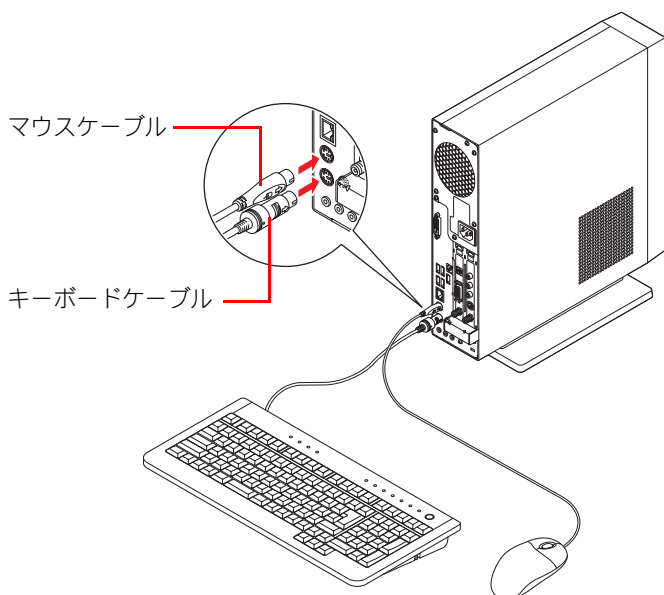
- 動作可能領域で使っている場合、うまく操作できないときは、電池残量がわずかになっている可能性があります。電池を交換してみてください。

### 参照

・リモコンの使い方について→「リモコン(テレビ機能付きモデルのみ)」(P.25)

## キーボードとマウスを接続しよう

### 1 キーボードケーブル、マウスケーブルを背面それぞれのコネクタに差し込む



### 重要

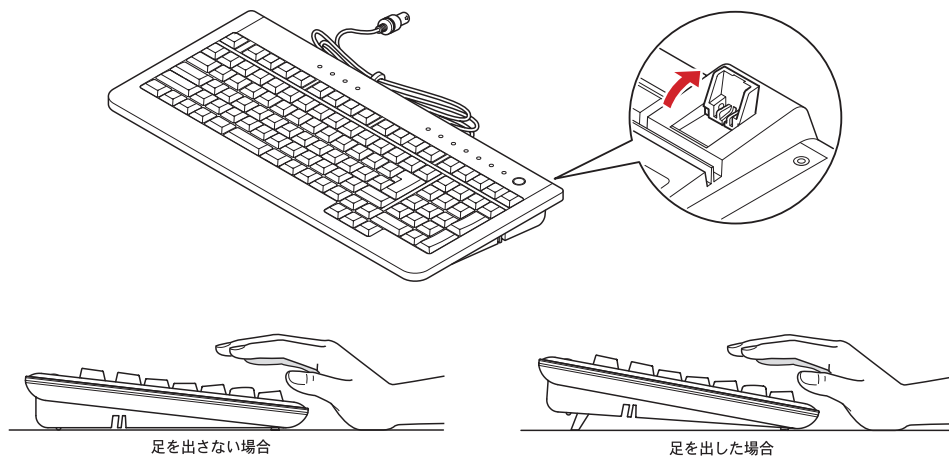
- 各プラグは、差し込む向きが決まっています。パソコン側のコネクタの形と、ケーブル側のプラグの形を正しく合わせて確実に差し込んでください。
- ピンのあるものは、ピンを曲げたり折らないようにしてください。

### 参照

各部の名称について→「各部の名前を知っておこう」(P.18)

## キーボードの角度を変えよう

キーボードの裏側には、キーボードの角度を変えるための足が付いています。この足を引き出すと、キーボードを置いたときの傾きを大きくできます。



# パソコンを接続しよう

さっそく接続してみましょう。

**※ヒント** ● パソコンを接続するときは、ディスプレイのマニュアルもあわせてご参照ください。

**▲重要** ● ケーブルが正しく接続されていない場合、電源が入らないことがあります。正しく接続してください。  
● 各ケーブルやコードは、必ず付属のものをご使用ください。

**1** ディスプレイケーブルのコネクター形状、上下の向きを確かめ、パソコンとディスプレイを接続する。  
ディスプレイケーブルは、奥までしっかり差し込む。  
このとき、コネクター内のピンを曲げないように注意して差し込む

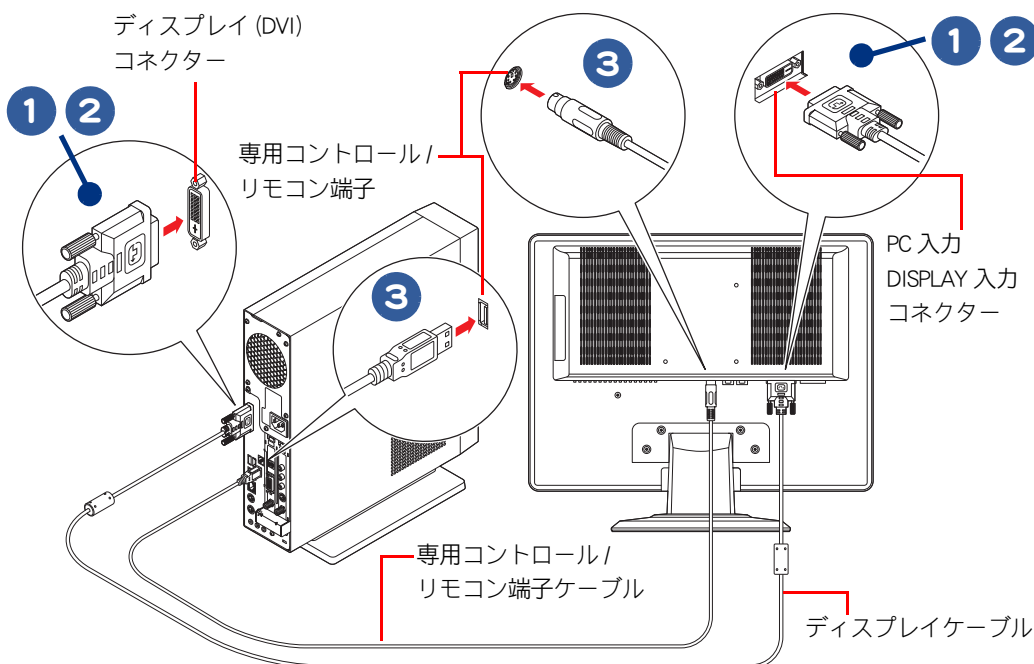
**2** ディスプレイケーブルのつまみを右に回し、コネクターを固定する

**▲重要** ● 電源コードを差した状態で、ディスプレイケーブルを抜き差ししないでください。故障の原因になります。  
● ディスプレイケーブルは、パソコンとディスプレイに直接接続し、延長ケーブルや各種アダプターは使用しないでください。使用すると画面が表示されないことがあります。

**3** 専用コントロール/リモコン端子ケーブルのコネクター形状、上下の向きを確かめ、パソコンとディスプレイを接続する。  
専用コントロール/リモコン端子ケーブルは、しっかりと奥まで差し込む。  
このとき、コネクター内のピンを曲げないように注意して差し込む

**※ヒント** ● 専用コントロール/リモコン端子ケーブルは、パソコンに接続するコネクターとディスプレイに接続するコネクターで形状が異なります。

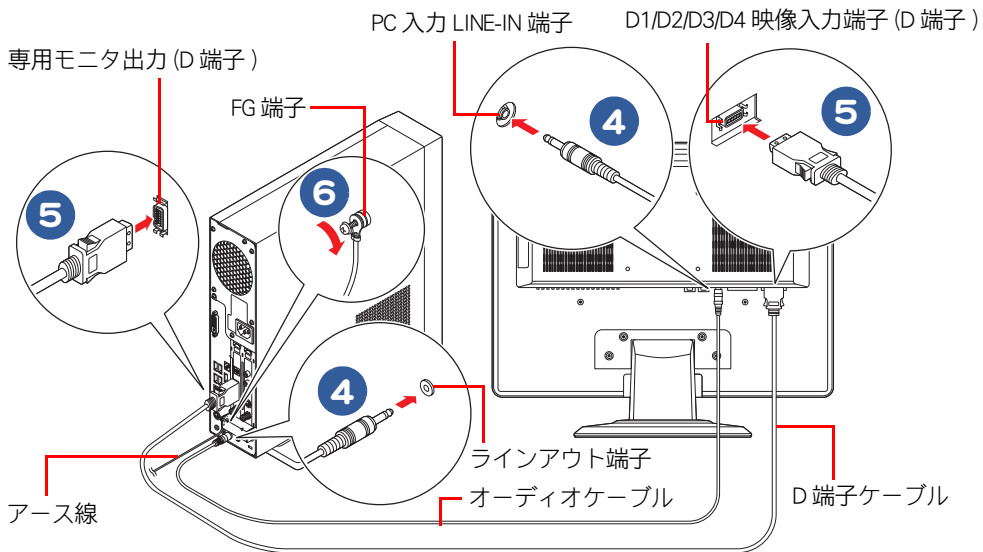
**▲重要** ● ケーブルが正しく接続されていない場合、電源が入らないことがあります。



- 4** オーディオケーブルをパソコンの「ラインアウト端子」、ディスプレイの「PC 入力 LINE-IN 端子」に接続する
- 5** テレビ機能付きモデルの場合、D 端子ケーブルをパソコンとディスプレイの D 端子に接続する。パソコン側は、「専用モニタ出力 (D 端子)」に接続する。ディスプレイ側は、「D1/D2/D3/D4 映像入力端子 (D 端子)」に接続する。D 端子ケーブルを、コネクター左右のロックがカチッと音がするまでしっかりと奥まで差し込む

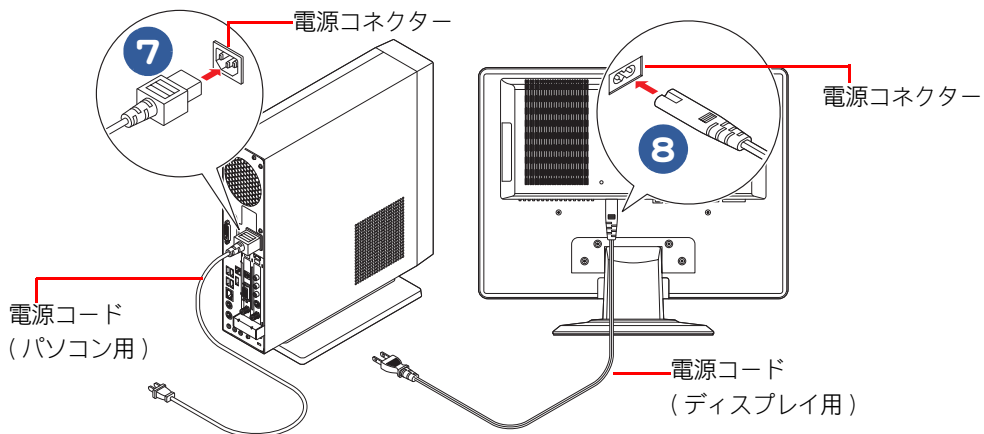
**重要** ● D 端子ケーブルを接続するときは、コネクター左右のロックがカチッと音がするまでしっかりと奥まで差し込んでください。

- 6** アース線を FG 端子に取り付け、ネジで接続する

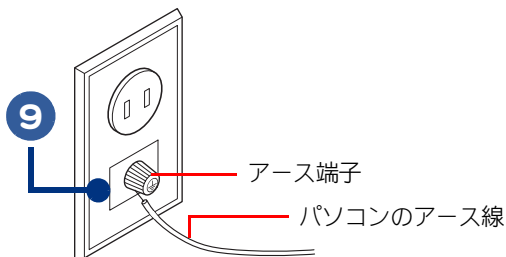


- 7** 電源コード (パソコン用) をパソコンの電源コネクターに差し込む

- 8** ディスプレイの電源コードをディスプレイに接続する

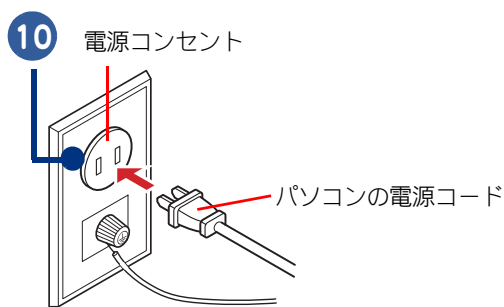
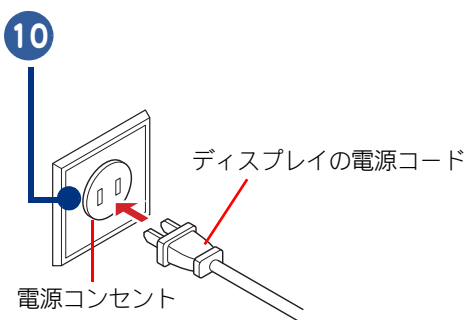


## 9 パソコンのアース線をアース端子に接続する



- 重要** ● アース線をアース端子に接続するとき、アース線先端の被覆を外し、芯線をアース端子に接続してください。アース線先端の被覆を外さず、被覆の上からアース端子に接続すると、万一の漏電時に感電の原因になります。

## 10 ディスプレイの電源コード、パソコンの電源コードの順にプラグをコンセントに差し込む



### 警告

- ・タコ足配線について  
同じコンセントに多数の機器を接続しないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になります。また、電力の使用量がオーバーとなり、ブレーカーが落ちてほかの機器にも影響を及ぼします。
- ・アース線について  
感電防止のため、アース線を専門の電気技術者が施工したアース端子に接続してください。接続しないと万一の漏電時に感電の原因になります。
  - ・本（接地）作業は本体の電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
  - ・アース線を外す場合は、必ず先に本体の電源プラグをコンセントより抜いてから行ってください。
  - ・アース線は添付したもの以外は使用しないでください。
  - ・アース線は確実にアースがとれる箇所に接続してください。ガス管などの箇所には危険ですので絶対に接続しないでください。

- 重要** ● 電源コードのプラグをコンセントから抜き差しするときは、パソコン、ディスプレイの順に行ってください。パソコンの電源コードのプラグがコンセントに差し込んである状態で、ディスプレイの電源コードのプラグをコンセントから抜き差しすると、一時的にパソコンが起動する場合があります。

- ※ヒント** ● 電源コードを接続した直後は、キーボードの[POWER]キーまたは、リモコンの[電源]ボタンから起動できません。一度Windowsを起動し、Windowsを終了して電源を切ってから、キーボードの[POWER]キーまたは、リモコンの[電源]ボタンから起動することができます。電源を入れるときは、パソコン前面の電源スイッチを押してください。

# 電源を入れよう

ここまででパソコンの電源を入れる準備ができました。次に、電源を入れるまでの操作を説明します。

## 電源を入れよう

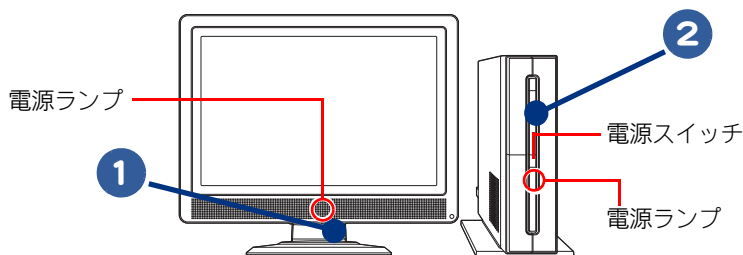
### 1 ディスプレイの電源スイッチを押す

ディスプレイの電源が入ります。ディスプレイの電源ランプが赤色からオレンジ色に変わります。

**※ヒント** ● パソコンの電源が入っておらず無信号状態であるため、「No Sync」などのメッセージが表示されます。

### 2 パソコンの電源スイッチを押す

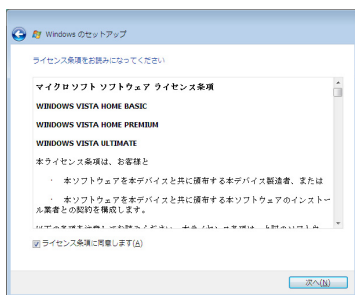
液晶ディスプレイの電源ランプとパソコンの電源ランプが緑色に変わり、しばらく待つと [Windows のセットアップ] が表示されます。



**※ヒント** ● パソコンの電源を入れても、正しく接続されていない場合は、「No Sync」など無信号状態であることを示すメッセージが表示されます。接続が正しいことを確認し、パソコンの電源を入れ直してください。

**参照** → パソコンの電源ランプについて → 「パソコン正面」(P.19)

### 3 次の [Windows のセットアップ] が表示されるまで待つ



**※ヒント** ● Windows 起動時は、ひんばんに画面の切り替えが行われるため、画面が乱れることがあります。  
● Windows が起動するまでに、「サポート外信号」と表示されることがありますが、故障ではありません。

このあと使用許諾契約に同意し、Windows を使えるようにします。『パソコン使用編』 1章の「使用許諾契約に同意しよう」をご参照ください。





# 2

## 2章 いろいろな使い方をするために

ここでは、インターネットやテレビを使うための準備など、パソコンのいろいろな使い方について説明しています。

- ≫ ・インターネットを始めたい方は (P.40)
- ≫ ・テレビを見たい方は (テレビ機能付きモデルのみ) (P.42)
- ≫ ・ほかの周辺機器を使うときは (P.47)
- ≫ ・ディスクを使うときは (P.48)
- ≫ ・パソコンカバーの取り外し / 取り付け (P.51)
- ≫ ・メモリーボードを取り付ける (P.54)

# インターネットを始めたい方は

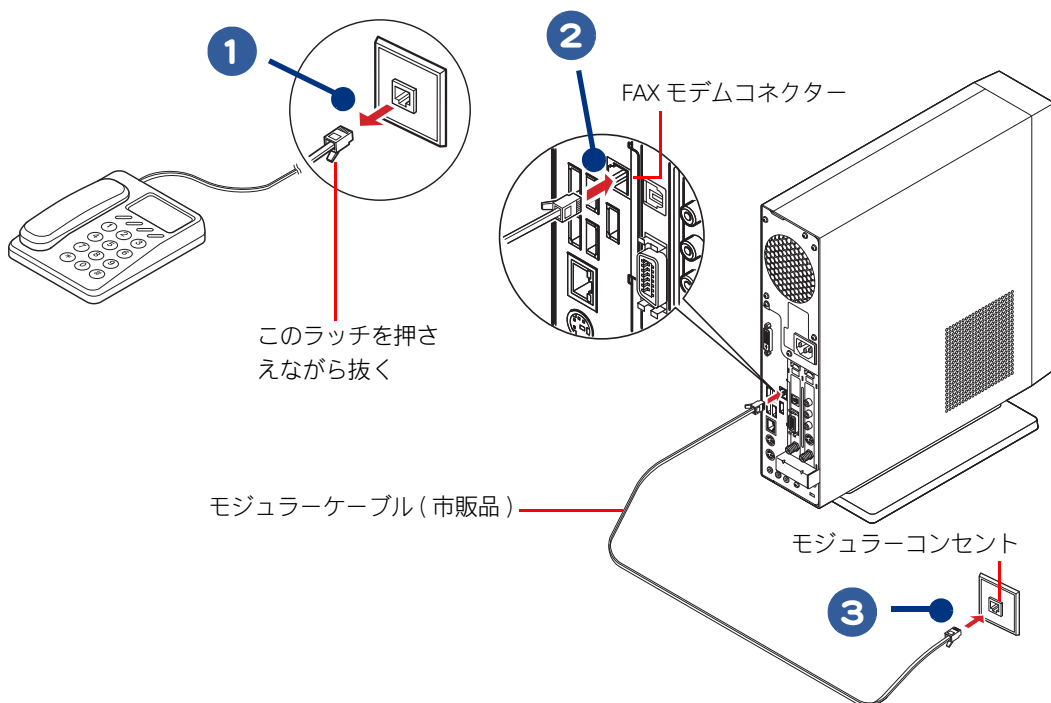
ここでは、モデムを使ってインターネットを始める方法を例に説明します。  
モデム以外の方法でインターネットを始める方は、『インターネット編』をご参照ください。

## モデムを使うには

モデムを使ってインターネットを始めるためには、次のようにモジュラーケーブルを接続してください。接続には、電話機に接続されているモジュラーケーブルのほかに、もう1本モジュラーケーブルが必要です。市販のモジュラーケーブルを準備してください。

**警告** ・雷が鳴っているときは、パソコンの使用、アンテナ線の接続および電話線への接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

- 1 お使いの電話機につながっているモジュラーケーブルを、モジュラーコンセントから抜く
- 2 市販のモジュラーケーブルの片側を、FAX モデムコネクタに「カチッ」と音がするまで差し込む
- 3 モジュラーケーブルの反対側を、モジュラーコンセントに「カチッ」と音がするまで差し込む



### ※ ヒント

- 接続する前に、お使いになっている電話機の種類をご確認ください。お使いになっている電話機がホームテレホンやビジネスホン（内線）の場合、接続しても正常にインターネットを始めることができません。この場合は、NTTにご相談ください。
- モジュラーコンセントの形状がイラストと異なる場合は、モジュラーコンセントを変更する必要があります。詳しくはNTTにご相談ください。

### ▲ 重要

- モジュラーケーブルには脱落防止のラッチが付いています。モジュラーケーブルを取り外すときは、ラッチを押さえながらモジュラーコンセントから引き抜いてください。ラッチを押さえずに無理に引き抜くと、モジュラーケーブルが断線したり、モジュラーコンセントを破損するなどのおそれがあります。

インターネットを始めるためには、ほかにも必要な手続きが残っています。インターネットの始め方については、『インターネット編』をご参照ください。

# テレビを見たい方は(テレビ機能付きモデルのみ)

このパソコンでテレビを見るには、アンテナ線とパソコンを接続します。

ここでは、アンテナ線を接続する方法などについて説明します。

チャンネル設定などのテレビを見る詳しい操作は、『エンターテインメント編』をご参照ください。



- ・雷が鳴っているときは、パソコンの使用、アンテナ線の接続および電話線への接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

## アンテナ線と接続する

パソコンとアンテナ線を接続するには、次の方法があります。パソコンを置く部屋やほかの家電製品を考慮し、接続しましょう。

お住まいの設備によりアンテナ端子の形状が異なります。アンテナ端子の形状をご確認ください。フィーダー線やアンテナアダプターなど必要なものが異なります。



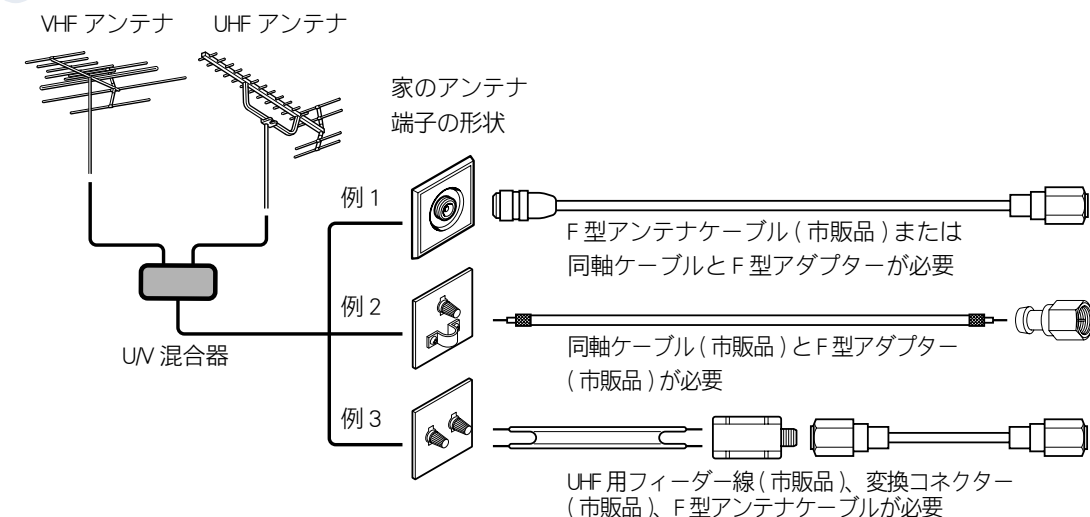
- 市販のアダプター、ケーブルなどは、パソコンショップなどで買い求めください。
- イラストは、アンテナ端子の形状を説明するためのイメージです。



- このパソコンは VHF、UHF アンテナのみに対応しています。それ以外のアンテナには対応していません。
- 地上デジタル放送を受信するためには、地上デジタル送信局に向けて UHF アンテナを設置する必要があります。地上アナログ放送対応の UHF アンテナでは、受信できない場合があります。
- 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。アンテナの調整やブースターの取り付けなどは、パソコンショップなどにお問い合わせください。

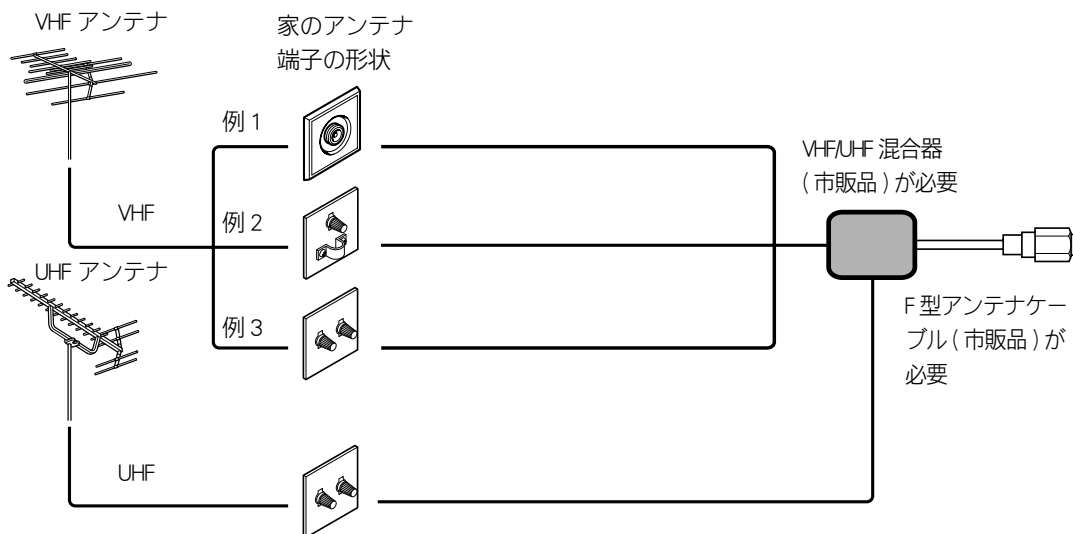
## VHF/UHF 混合の場合

### アンテナ端子が1つのとき

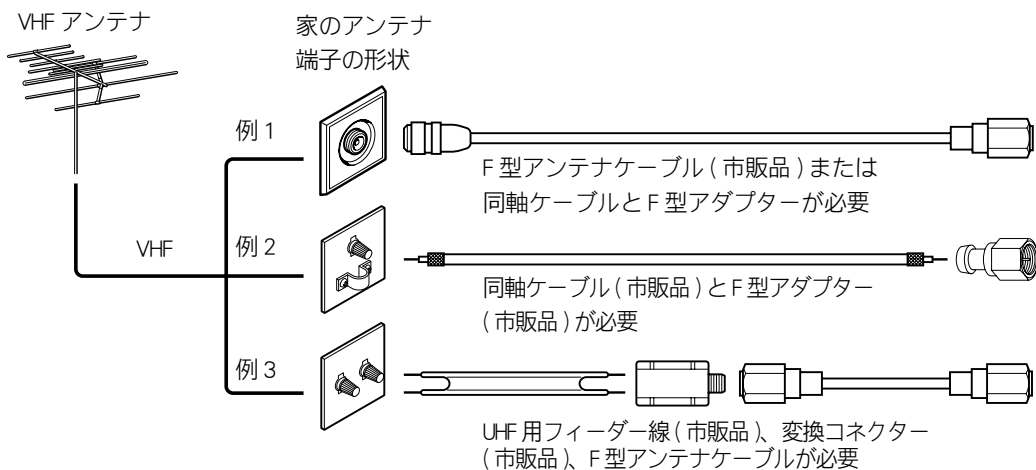


## VHF/UHF 別々の場合

### アンテナ端子が2つのとき



## VHF の場合



**※ヒント** ● VHF アンテナだけの場合は、地上デジタル放送を視聴できません。

## CATV の場合

CATV から受信する場合は、CATV 業者との契約が必要です。伝送方式や接続については CATV 業者にお問い合わせください。

**※ヒント** ● CATV から地上デジタル放送を視聴するには、CATV 局が地上デジタル放送に対応している必要があります。

2

いろいろな使い方をするために

## CATV における地上デジタル放送の主な伝送方式

伝送方式	特徴	本パソコンでの受信
トランスモジュレーション方式	放送信号を CATV 局の独自の方式に変更して再送信する方式。	×
同一周波数パススルー方式	放送信号をそのまま再送信する方式。	○
周波数変換パススルー方式	放送信号の周波数などを変換して CATV 局から再送信する方式。	○

## パソコンにアンテナを接続する

テレビチューナーでテレビを見る場合の接続です。

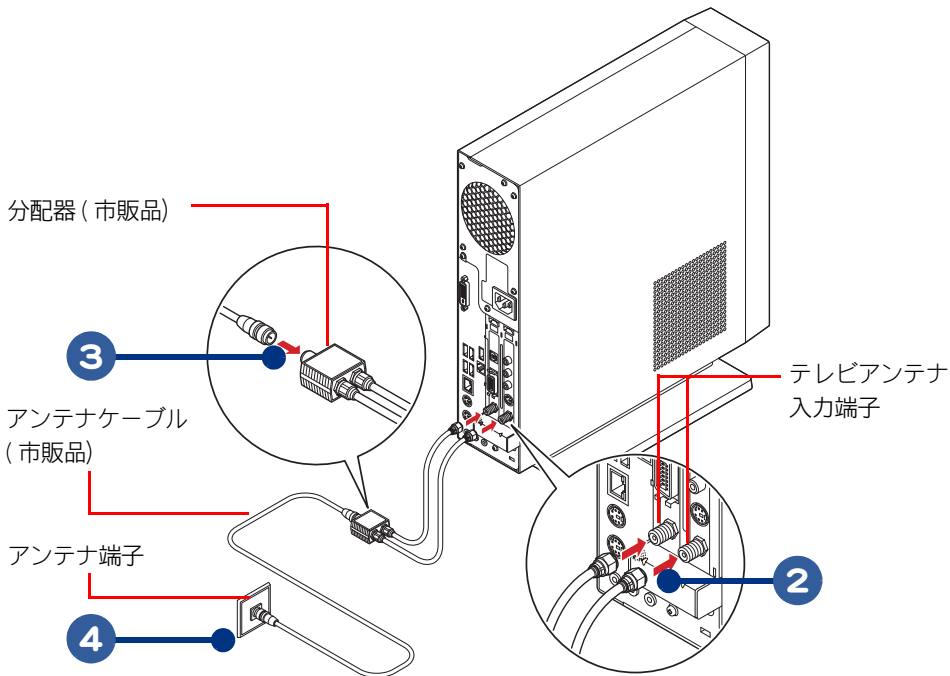
- 重要**
- パソコンと周辺機器の電源を切ってから接続してください。
  - アンテナケーブルは、添付品または市販品をご使用ください。自作のテレビアンテナケーブルなど、芯線の太さが異なるケーブルを使用すると、受信感が悪くなる場合があります。

### 1 電源ランプが消えていることを確認する

### 2 分配器のアンテナケーブル 2 本をテレビアンテナ入力端子に差し込み、ネジを締める

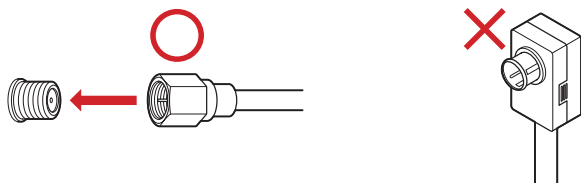
### 3 アンテナケーブルを分配器に差し込む

### 4 アンテナケーブルをアンテナ端子に差し込む



## F型コネクターについて

市販品のアンテナケーブルでテレビアンテナ入力端子への接続を行う際は、F型コネクターをご利用ください。異なるコネクターを使用すると受信感が悪くなる場合があります。



## B-CAS カードを取り付ける

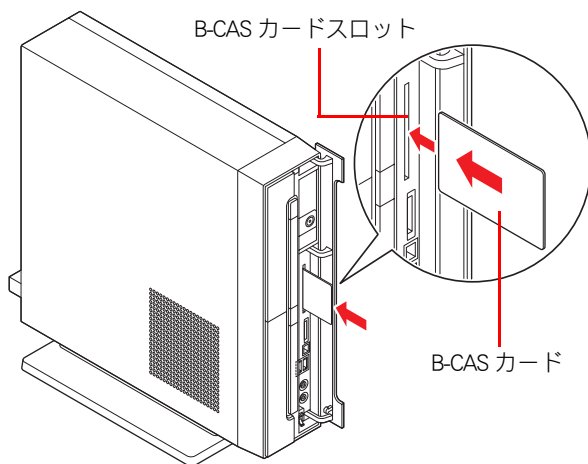
地上デジタル放送は、B-CAS カードを取り付けないと視聴できません。

- 重要**
- パソコンと周辺機器の電源を切ってから接続してください。
  - 同梱の B-CAS カードは地上デジタル放送専用カードです。BS/CS110 の視聴と有料放送の契約はできません。
  - B-CAS カードは、取り外さないでください。取り外す場合はパソコンの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

### 1 電源ランプが消えていることを確認する

### 2 B-CAS カードに印刷されている矢印の向きを確認する

### 3 カードの矢印面が見えるように、B-CAS カードスロットに奥まで差し込む



- ※ ヒント**
- 裏向きや逆方向から差し込まないでください。方向が異なると地上デジタル放送を受信できません。
  - B-CAS カードは、スロットの奥まで差し込んででも 2cm くらい外に出た状態になります。

## 4 B-CAS カードを登録する

B-CAS カードに添付されている説明書を読み、登録はがきに必要事項を記入して投函してください。

- 重要** ● B-CAS カードは、地上デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与されたカードです。このカードの所有権は(株)ビーエス・コンディショナル アクセス システムズに帰属します。
- B-CAS カードを破損・紛失した場合は、B-CAS カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用がかかります。

## 電話回線をモデムに接続する

地上デジタル放送では、電話回線やインターネットを使って双方向サービスに関する情報を送信します。双方向サービスを利用する場合は、必ず電話回線をモデムに接続し、またインターネット環境をご利用ください。

- 重要** ● インターネットの接続に ADSL などの LAN 回線を使用している場合は、LAN コネクタに LAN ケーブルを接続してください。この場合も必ず電話回線をモデムに接続してください。
- 電話回線やインターネットの通信料金は、お客様の負担になります。

### ■電話回線の接続について

地上デジタル放送は、電話回線を使った視聴者参加番組があります。NTT の 2 線式公衆電話回線で、プッシュ式またはダイヤル式 (10 PPS/20 PPS) 電話機に接続されている電話線を分配して接続してください。不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および 2 線式電話回線と接続しない電話機 (携帯電話、PHS など) では利用できません。

### ■インターネットへの接続について

地上デジタル放送では、インターネットへの接続により多様な双方向データサービスを利用できます。このサービスを利用するには、常時接続の回線業者やプロバイダーとの契約が必要です。インターネットへの接続をしないと、双方向データサービスを利用できない場合があります。



# ほかの周辺機器を使うときは

周辺機器の接続は、『パソコン応用編』の「3章 パソコンを拡張する」をご参照ください。次のような接続や取り付けなどが行えます。必要に応じて、あらかじめ印刷してください。

電子マニュアルは、デスクトップ画面の「電子マニュアル」アイコンをダブルクリックします。

設定などの詳しい説明は、周辺機器のマニュアルをご参照ください。

- ・ USB 機器を接続する
- ・ IEEE1394 機器を接続する
- ・ LAN を接続する
- ・ ヘッドホン、マイクを接続する
- ・ 光デジタルオーディオ機器を接続する
- ・ メモリーカードを使う
- ・ その他の周辺機器を接続する

**重要** ● 周辺機器を接続する前に、Windows のセットアップを完了してください。周辺機器を接続してから Windows のセットアップを行うと、正しくセットアップできない場合があります。

**参照** → Windows のセットアップについて → 『パソコン使用編』 1章の「使用許諾契約に同意しよう」

- 接続するときは、パソコンと周辺機器の電源をあらかじめ切ってください。
- 本パソコンにプレインストールされているオペレーティングシステム (OS) に対応した周辺機器でのみ動作します。ただし、すべての周辺機器の動作を保証するものではありません。

**ヒント** ● 次のプリンタードライバーはプレインストールされています。プリンターを接続すれば、使用できます。一括インストールしたときには、これらのドライバーはインストールされません。プリンターに付属のドライバーをインストールしてください。

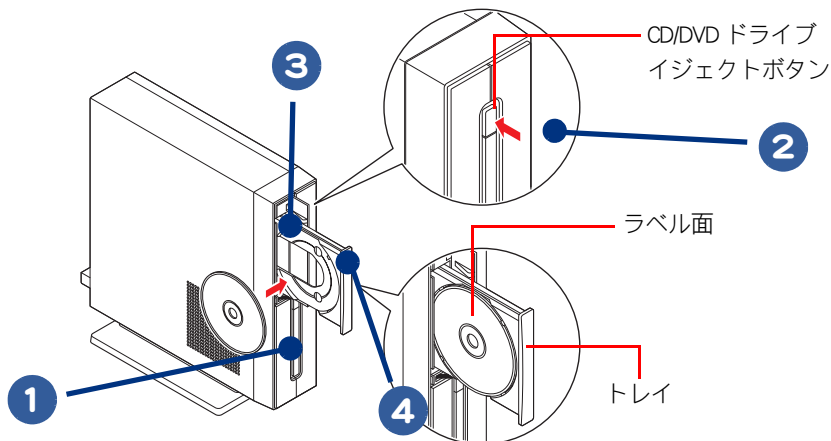
- ・ EPSON (PM-G850、PM-D870、PX-A720、PM-A820、PM-A920、PM-A970、PX-G930)
- ・ Canon (MP810、MP600、MP510、MP460、iP4300、iP3300、iP1700)

# ディスクを使うときは

## CD/DVD ドライブのディスクの入れ方／取り出し方

- 1 CD/DVD ドライブアクセスランプが消灯し、CD/DVD ドライブがアクセスしていないことを確認する
- 2 CD/DVD ドライブイジェクトボタンを押す  
トレイが出てきます。
- 3 ディスクのラベル面を左に向け、手を添えながらディスクホルダーにディスクを固定する  

ディスクを取り出すときは、イジェクトボタンを押してトレイを出し、ディスクに手を添えながら取り出します。
- 4 トレイを軽く押して閉める。  
または、CD/DVD ドライブイジェクトボタンを押して閉める



- 重要**
- CD/DVD ドライブがアクセス中は、トレイを出さないでください。ドライブまたはディスクが壊れることがあります。
  - トレイを出し入れするときに、トレイを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。ドライブが壊れることがあります。ディスクをセットしたり、取り外すとき以外は、トレイを出さないでください。
  - ノンカートリッジまたは、カートリッジから取り出すことのできる DVD-RAM メディアのみ使用できます。DVD-RAM TYPE1 メディアは、カートリッジから取り出せないため、使用できません。
  - ディスクの読み取り部が指紋などで汚れると、読み取りエラーや映像のコマ落ちが発生します。
  - CD/DVD ドライブから再生した映像は、専用モニタ出力 (D 端子) からは出力されません。ディスプレイコネクター (DVI) からのみ出力されます。

### ※ヒント

- パソコンの電源が入っていないと、トレイは出てきません。
- 使用しているアプリケーションソフトによっては、アプリケーション画面の取り出しボタンを押さないと、トレイが出てこない場合があります。
- ディスクをセットしトレイを閉めると、ディスクの動作を選択する画面が表示されることがあります。
- トレイを閉めた直後は、CD/DVD イジェクトボタンを押してもトレイが開かない場合があります。CD/DVD ドライブアクセスランプが消灯していることを確認してから、再度 CD/DVD イジェクトボタンを押してください。

### ▲重要

- ディスクの強制取り出しは、パソコンカバーを取り外して行ってください。

### 参照→

パソコンカバーの取り外し→「パソコンカバーの取り外し/取り付け」(P.51)

### ▲重要

- 8cm CD-ROM などを使用する場合は、パソコンを横置きでご使用ください。また、名刺型ディスクなどの変形ディスクは使用できません。これらのディスクはアダプターを取り付けても使用できません。

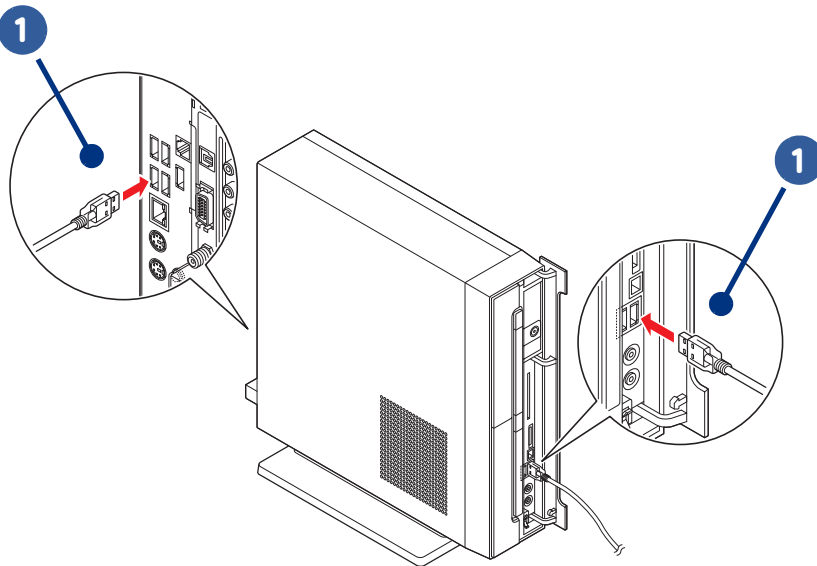
### 参照→

使用できるディスクの種類→「ドライブの仕様」(P.58)

## FD の入れ方／取り出し方

ここでは、外付けの USB FDD( オプション ) の接続方法について説明します。

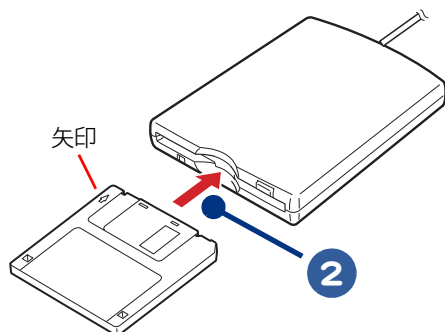
### 1 パソコン前面または背面の USB コネクタのどれかに、FDD の USB ケーブルを接続する



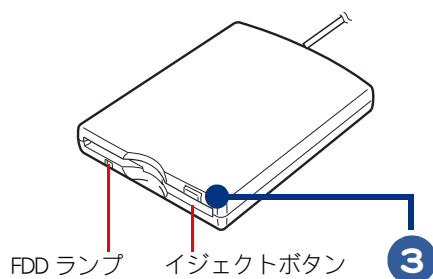
### ▲重要

- コネクタには上下の向きがあります。コネクタの形を確認して取り付けてください。誤った向きで無理に押し込むと、コネクタ破損の原因になります。
- FDD は上下を逆にしないでください。
- FDD は AC アダプターから 30cm 以上、またパソコンからはなるべく離してご使用ください。
- FDD を取り外すときは、FDD に FD が入っていないことを確認してください。FD が壊れることがあります。

- 2** FDの表側(ラベルをはる面)を上に向け、矢印をFDDに向け、「カチッ」と音がするまで押し込む



- 3** FDを取り外すときは、FDDランプが点灯していないことを確認して、イジェクトボタンを押す



- 重要**
- FDDランプの点灯、点滅中にFDを出し入れすると、FDDまたはFDが壊れることがあります。
  - パソコンの電源を切るときは、FDを取り出してからにしてください。FDを入れたまま電源を切ると、FDが壊れることがあります。また、FDを入れたまま電源を入れると、パソコンが起動しないことがあります。
- 参照** → FDのフォーマット方法について → 【入門編】3章の「フロッピーディスクをフォーマットしよう」

- 4** FDが出てくるので、FDDから取り出す

# パソコンカバーの取り外し / 取り付け

メモリーボードなどを増設するには、パソコンカバーを取り外します。

## 作業時の注意点

内蔵周辺機器の増設には細心の注意を払ってください。  
特に、次の点は必ずお守りください。

### ⚠ 警告 ■ 周辺機器の増設や接続

周辺機器を増設・接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。マニュアルの説明に従い、マニュアルで使用できることが明記された周辺機器を使用してください。それ以外の周辺機器を使用すると、接続仕様の違いによる周辺機器やパソコンの故障から発煙、発火、火災や故障の原因になります。

### ⚠ 注意 ■ パソコン内が冷えるまで待つ

パソコンの電源を切った直後は、CPUの冷却フィンなど内部の部品が熱くなっています。  
約30分時間をおき、熱が冷めてから増設作業を始めてください。電源を切った直後に増設作業を行うと、やけどをするおそれがあります。

### ■ 綿手袋を着用する

パソコンの移動、部品の追加などで金属やプラスチックなどの端面に触れる場合は、注意して触れてください。または、綿手袋を着用してください。けがをするおそれがあります。

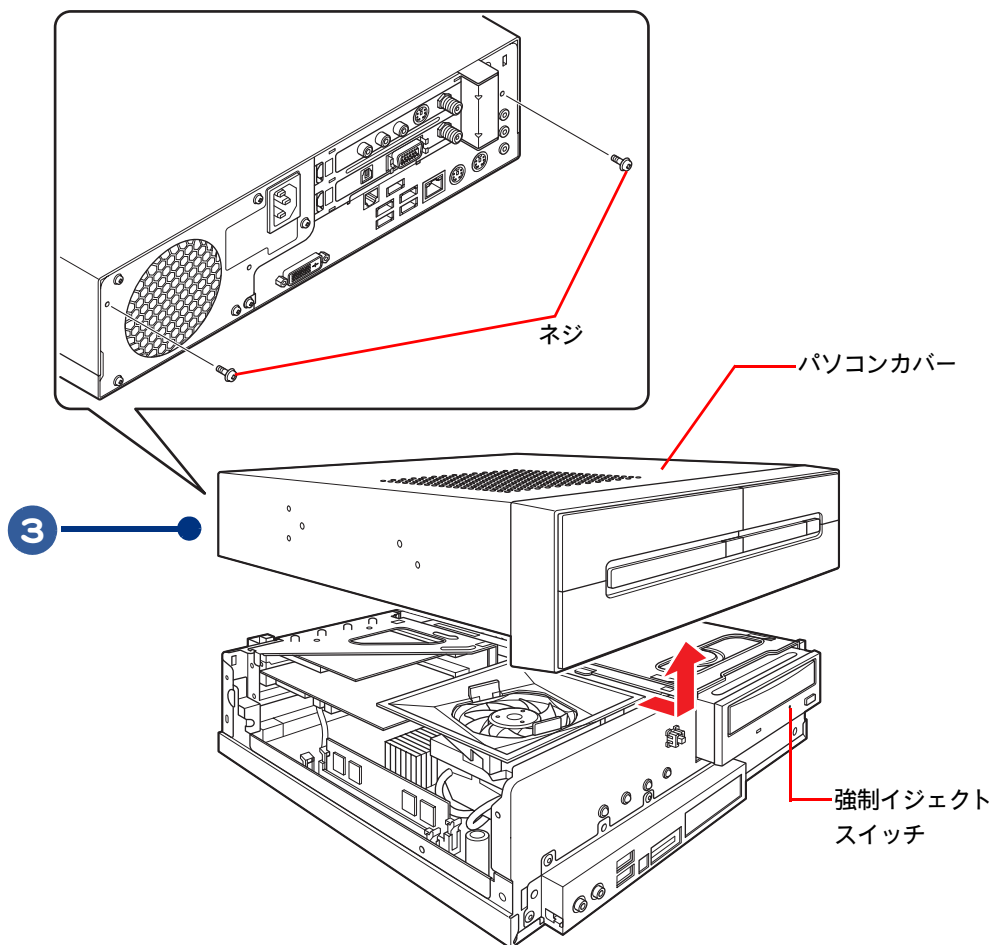
### 注意 ■ 体から静電気を逃がしておく

パソコンや内蔵周辺機器は精密機器です。わずかな静電気も故障の原因になります。あらかじめ金属に触れるなどして、体から静電気を逃がしておいてください。

## 取り外し手順

- 1 電源を切り、パソコン、ディスプレイの順に電源プラグを抜く。また、パソコンに接続されているケーブルをすべて外す
- 2 縦置きで使用している場合は、パソコンスタンドが上になるようにパソコンを置き、パソコンスタンドのネジ3本を外してパソコンスタンドを取り外してから、パソコンを横にする

**3** パソコン背面にある、パソコンカバーのネジ2本を外して、パソコンカバーを  
しっかり押さえ、前面側にスライドしてから持ち上げる



**警告**

・パソコンカバーを取り外すときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブル類やカード類をパソコンから外してから行ってください。パソコンの電源を切っても、一部の回路には通電しているため、思わぬ接触など作業の不具合発生時に故障や劣化による火災の原因になります。

**重要**

- ケーブル類の抜き差しは、プラグまたはコネクター部を持って行ってください。
- パソコンカバーの取り外し、取り付けのときにパソコンカバーを内部のケーブルに引っかけないようにしてください。
- 通常は、ディスク強制イジェクトスイッチを使用しないでください。ただし、ディスクイジェクトボタンを押してもトレイが出ないときは、ディスク強制イジェクトスイッチに細いピンなどを差し込んで取り出してください。

## 取り付け手順

### 1 パソコンカバーを取り外しと逆の手順で取り付ける

### 2 縦置きの場合はパソコンスタンドを取り外しと逆の手順で取り付ける

**警告** ・縦置きの場合、付属のパソコンスタンドを正しい位置に必ず取り付けてください。取り付けないと、通気孔がふさがり、発煙、発火や故障の原因になります。また、転倒し、けがや故障の原因になります。

- 重要**
- パソコンカバーの取り外し、取り付けのときにパソコンカバーを内部のケーブルに引っかけないようにしてください。
  - スタンドを取り付けるときは、パソコン前面のドアを強く押さえないでください。壊れることがあります。
  - スタンドを取り付けた状態で、パソコンを傾けないでください。スタンドが壊れることがあります。

### 3 取り外したケーブルを取り付ける

**参照** → パソコンの接続について→1章の「パソコンを接続しよう」(P.34)

- ヒント**
- 電源コードを接続した直後は、キーボードの[POWER]キーまたは、リモコンの[電源]ボタンから起動できません。一度Windowsを起動し、Windowsを終了して電源を切ってから、キーボードの[POWER]キーまたは、リモコンの[電源]ボタンから起動することができます。電源を入れるときは、パソコン前面の電源スイッチを押してください。

2

いろいろな使い方をするために

# メモリーボードを取り付ける

メモリーボードを増設すると、メモリー容量を増やすことができます。最大 2048MB まで増設できます。

## メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせ方

メモリーボードは、この表の組み合わせを参考にして増設してください。

メモリー	ソケット	
実装容量*	1	2
512MB	512MB	—
1024MB	512MB	512MB
	1024MB	—
2048MB	1024MB	1024MB

\* : 実装容量は、[コントロールパネル]—[システムとメンテナンス]—[システム]で確認できます。ただし [システム] に表示される容量は、実装容量からビデオメモリー容量分 (8 ~ 384MB 間で使用状況に合わせて変更) を引いた値です。

- ※ ヒント**
- 同一のメモリーボードを 2 枚取り付けていると、Dual-Channel-Mode で動作可能となり、倍容量のメモリーボードを 1 枚で取り付けているときより高速処理ができるようになります。
  - メモリーボードを 1 枚だけ取り付ける際は、ソケット 1 (内側) に取り付けてください。
  - 容量の異なるメモリーボードを 2 枚取り付けると、同容量のメモリーボードを取り付けた場合と比べ、メモリーデータ転送性能は劣ります。

- 重要**
- 仕様の異なるメモリーボードを取り付けしないでください。正常に動作しない場合があります。

**参照** → メモリーボードの仕様について → 3 章の「メモリーボードの仕様」(P.60)



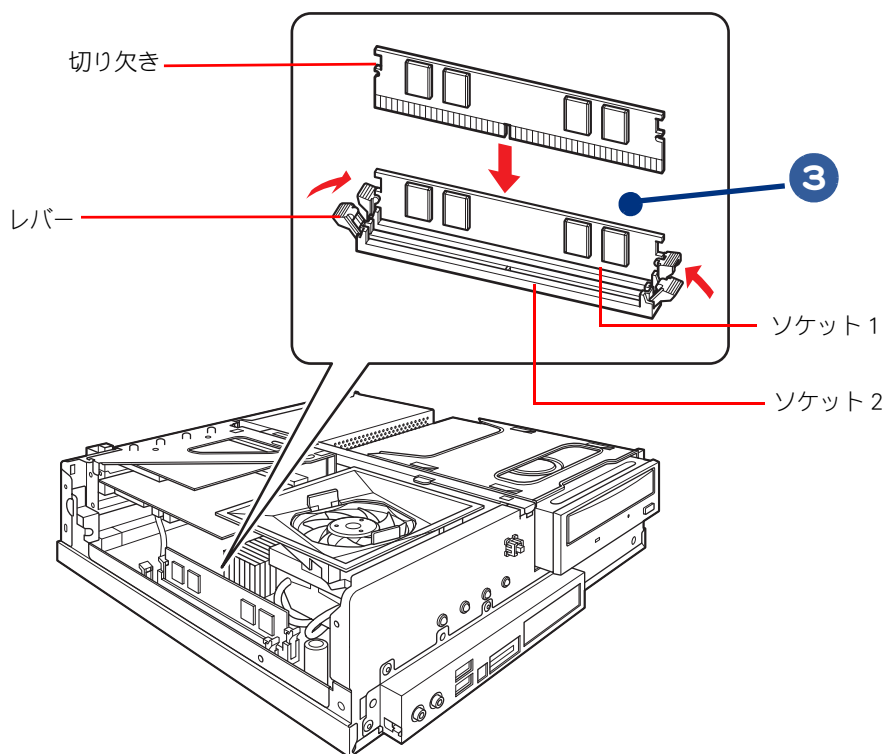
## 取り付け手順

1 縦置きの場合、パソコンスタンドを取り外す

2 パソコンカバーを取り外す

参照 → 取り外す方法について → 「パソコンカバーの取り外し/取り付け」(P.51)

3 メモリーボードを取り付けるソケットのレバーを外側に倒し、ソケットにメモリーボードを差し込む。レバーが切り欠きにかかるまで少しずつ押し込む



4 パソコンカバーを取り付ける

5 縦置きの場合、パソコンスタンドを取り付ける

2

いろいろな使い方をするために

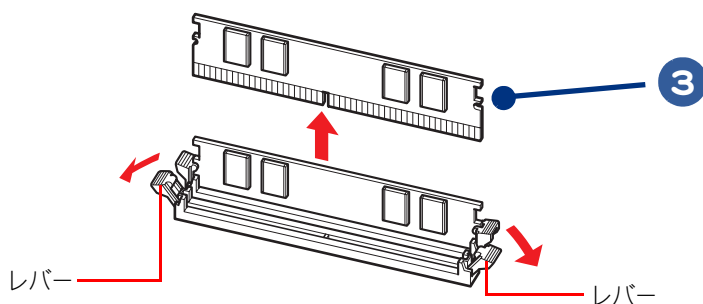
## 取り外し手順

1 縦置きの場合、パソコンスタンドを取り外す

2 パソコンカバーを取り外す

参照 → 取り外す方法について → 「パソコンカバーの取り外し/取り付け」(P.51)

3 レバーを図の矢印の方向に倒し、メモリーボードを浮き上がらせ、ゆっくりと上に引き抜く



4 パソコンカバーを取り付ける

5 縦置きの場合、パソコンスタンドを取り付ける



# 3

## 3章 技術情報

この章では、ドライブの仕様などについて説明します。

- »・ドライブの仕様 (P.58)
- »・メモリーボードの仕様 (P.60)
- »・有寿命部品一覧 (P.61)
- »・オプション情報 (P.62)

# ドライブの仕様

## DVDスーパーマルチドライブ(DVD±R 2層書き込み対応)の仕様

項 目	仕 様
読み込み速度*	CD-ROM、CD-R：最大 40 倍速 CD-RW：最大 40 倍速 DVD-ROM：最大 16 倍速、DVD-R：最大 16 倍速 DVD-RW：最大 8 倍速、DVD-RAM：最大 12 倍速、 DVD+R：最大 16 倍速、DVD+RW：最大 8 倍速、 DVD+R DL：最大 8 倍速 DVD-R DL：最大 8 倍速
書き込み速度	CD-R：最大 40 倍速、CD-RW：最大 32 倍速 DVD-R：最大 16 倍速、DVD-RW：最大 6 倍速 DVD-RAM(4.7GB)：最大 12 倍速、DVD+R：最大 16 倍速 DVD+RW：最大 8 倍速、DVD+R DL：最大 8 倍速 DVD-R DL：最大 4 倍速
最低書き込み速度	CD-RW：4 倍速
インタフェース	ATAPI
データ転送速度 (I/F 上)	最大 66MB/sec
平均アクセスタイム	DVD-ROM 145ms DVD-RAM 260ms CD-ROM 125ms
バッファメモリー	2MB
ローディング方式	トレイ式 / 電動イジェクト
レーザー規格	Class1
読み込み可能ディスク	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RW、DVD-RAM DVD+R、DVD+RW
書き込み可能ディスク	CD-R/RW、DVD-R(4.7GB)、DVD-RW(Ver.1.2)、DVD-RAM(4.7GB/9.4GB)、 DVD+R(4.7GB)、DVD+RW(4.7GB)、DVD+R DL(8.5GB)、DVD-R DL(8.5GB)
対応フォーマット	CD-DA(オーディオ CD)、CD-ROM(mode1、mode2)、CD-ROM XA (mode2 の Form1、Form2)、CD-R/RW、Photo CD(シングル/マルチセッション)、 Video CD、CD Extra(CD+)、CD-TEXT、CD-I、DVD-ROM、 DVD-R(3.95GB/4.7GB)、DVD-VIDEO、DVD-RW(4.7GB)、 DVD-RAM(2.6GB/4.7GB/9.4GB、Type1 は除く)

項目	仕様
推奨ディスク	CD-R：太陽誘電製、日立マクセル製 CD-RW：リコー製、三菱化学メディア製、日立マクセル製 Hi Speed CD-RW：三菱化学メディア製、日立マクセル製 Ultra Speed CD-RW：三菱化学メディア製 DVD-R(4x)：三菱化学メディア製、日立マクセル製 DVD-R(8x)：太陽誘電製、三菱化学メディア製、日立マクセル製 DVD-R(16x)：三菱化学メディア製、日立マクセル製 DVD-RW(2x)：日本ビクター製、TDK製、日立マクセル製 DVD-RW(4x)：日本ビクター製、三菱化学メディア製、日立マクセル製 DVD-RW(6x)：日本ビクター製、三菱化学メディア製、日立マクセル製 DVD-RAM(3x)：日立マクセル製、松下電器産業製 DVD-RAM(5x)：日立マクセル製 DVD-RAM(12x)：日立マクセル製 DVD+R(4x)：日立マクセル製 DVD+R(8x)：日立マクセル製 DVD+R(16x)：三菱化学メディア製、日立マクセル製 DVD+RW(4x)：リコー製、日立マクセル製 DVD+RW(8x)：三菱化学メディア製 DVD+R DL(2.4x)：リコー製、三菱化学メディア製、日立マクセル製 DVD+R DL(8x)：三菱化学メディア製 DVD-R DL(4x)：三菱化学メディア製

\*： ディスクの回転率が大きい場合や高速での読み込みが困難な場合は、自動で回転率を落とします。

### 重要

- 推奨ディスク以外を使用される場合、正しく動作しないことがあります。
- 使用するディスクによって、専用ソフトが必要です。
- ディスクをドライブに入れた直後に“Not Ready”などの準備ができていないことを示すエラーメッセージが表示される場合があります。この場合は、ディスクアクセスランプが消灯するまでお待ちください。
- カートリッジ式のディスクは、カートリッジから取り外した状態でのみ使用可能です。
- CD-R/RW や DVD-R/RW ディスクは、追加で書き込みをすると、書き込んだドライブ以外では正常に読み込めない場合があります。
- ドライブには、次のものを絶対に入れないでください。ディスクを取り出せなくなったり、ドライブやディスクが破損の原因になります。
  - ・ 名刺型ディスクやハート型などの異形ディスク
  - ・ 8cm 小径ディスクの 12cm 変換アダプター
  - ・ ”DVD Slim disc” などの規格外ディスク
  - ・ コイン、クリップなどの金属物や液体など、ディスク以外の異物
- 8cm の CD-ROM などを使用される場合は、パソコンを横置きにして、ご使用ください。
- ディスクにラベルなどをはらないでください。ドライブ内の回転が不安定になり、故障の原因になります。
- DVD+R DL の媒体へデータを追記し、DVD+R DL 未対応のドライブで読み込むと、追記したデータが読み込めないことがあります。
- 本ドライブで記録した DVD ± R DL の媒体は、他のドライブで読めないことがあります。
- DVD-R DL は、追記書き込みはできません。
- 本ドライブは、4 倍速書き込み以上の CD-RW ディスクに対して、書き込み（消去を含む）が可能です。2 倍速書き込みディスクなど、4 倍速未満のディスクは書き込み（消去を含む）が行えません。

### ※ ヒント

- DVD+R DL、DVD-R DL とは、片面 2 層 (8.5GB) のディスクです。

# メモリーボードの仕様

項目	仕様
容量	512MB / 1024MB
	パリティなし
外形寸法	約 133 mm (W)X32 mm (D)
DRAM タイプ	DDR2 SDRAM PC2-4200
DIMM タイプ	240 ピン
電源電圧	1.8V ± 0.1V

**※ヒント** ●メモリーボードの使用環境はパソコンと同じです。

# 有寿命部品一覧

パソコンの部品は、長期間使用しているうちに劣化、磨耗します。

次の部品は、一定周期で交換の必要があります。

ここで記載の寿命とは設計構造上の想定寿命であり、寿命を保証するものではありません。想定寿命を満たさない場合でも、無償修理期間を過ぎている場合の部品代は有償です。

購入や交換については、お買い求め先にご連絡ください。

なお、交換した部品は、パソコン購入時の部品と、仕様が異なる場合があります。

品名	備考
PS/2 キーボード	* 1
PS/2 マウス	
ファン	
ハードディスクユニット	
リモコン	
テレビチューナーボード	* 1、3
メインボード	
電源ユニット	
DVD スーパーマルチドライブ	* 2、4
リチウム電池 (パソコン本体用)	* 5


- \* 1 : 事務室で 1 日に 8 時間、1 カ月で 25 日間、通常に使用すると想定した場合、寿命は約 5 年です。  
したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。  
ハードディスクに関しては、長時間連続使用など使用状態によって、早期にあるいは、製品の保証期間内であっても、部品交換 (有料) が必要となります。
- \* 2 : 定期的なクリーニングし、清潔に保った場合。
- \* 3 : 使用しているアルミ電解コンデンサーは寿命のある部品です。
- \* 4 : 事務室で 1 日に 1 時間 20 分、1 ヶ月で 25 日間、データの読み書きを想定した場合、寿命は約 5 年です。  
したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。
- \* 5 : 寿命は約 5 年です。

# オプション情報

パソコンに増設または接続できるオプションを次に示します。

分類	品名	形名	仕様
ファイル装置	フロッピーディスク装置	PCF-UJ2231A	USB インタフェース、3.5 型、 3 モード*
		PCF-UJ2231B	

\* : Windows Vista では 2 モードでの利用となります。

 **重要** ● この一覧以外のオプションは動作保証していません。



# さくいん

## B

B-CAS 45

## C

[Caps Lock] ランプ 22

CATV 43

CD/DVD ドライブ 19

CD/DVD ドライブイジェクトボタン 19

## D

DVD スーパーマルチドライブの仕様 58

## F

FAX モデムコネクタ (Line) 21

[FF] キー 22

FG 端子 21

## I

IEEE1394 S400 (4 ピン) コネクタ 19

[INTERNET] キー 22

## L

LAN コネクタ 21

## M

[MAIL] キー 22

[MUTE] キー 22

## N

[Num Lock] ランプ 22

## P

[P1] キー 22

[P2] キー 22

[Play&Pause] キー 22

[POWER] キー 22

PS/2 コネクタ (キーボード用) 21

PS/2 コネクタ (マウス用) 21

## R

[Rew] キー 22

## S

[Scroll Lock] ランプ 22

[Stop] キー 22

S 映像入力端子 (4 ピン) 21

## U

UHF 42

USB コネクタ 19

## V

VHF 42

## W

[Windows] キー 24

## い

インターネット 40

## う

上書きモード 23

## お

オーディオケーブル 17

オプション情報 62

## か

拡張スロット 21

## き

キーボード 16

キャスロックランプ 22

## こ

ゴム足 4 個 16

コンセント 28

コンポジット映像入力端子 21

## す

スクロールロックランプ 22

スピーカー 18

## せ

接続 34

専用コントロール / リモコン端子ケーブル 17

専用モニタ出力 (D 端子) 21

## そ

挿入モード 23

## た

縦置き 29

タブ 23

## ち

地上アナログテレビチューナーボード 21  
地上アナログテレビアンテナ入力端子 21  
地上デジタルテレビアンテナ入力端子 21  
地上デジタルテレビチューナーボード 21

## つ

通気孔 19

## て

ディスクの入れ方／取り出し方 48  
ディスプレイ (DVI) コネクタ 21  
ディスプレイケーブル 17  
テレビを見る 42  
電源コード (ディスプレイ用) 17  
電源コード (パソコン用) 16  
電源コネクタ 21  
電源スイッチ 19, 37  
電源ランプ 19  
電源を入れる 37  
電子マニュアル 1  
伝送方式 44  
電話回線 46

## と

盗難防止用ロック取り付け穴 21

## な

ナムロックランプ 22

## は

パソコン 16  
パソコンカバー 51  
パソコンスタンド 16

## ひ

光デジタルオーディオ出力端子 (角型) 21  
光デジタルオーディオ出力端子 (丸型) 21  
ビデオ音声入力端子 (左) 21  
ビデオ音声入力端子 (右) 21

## ふ

ファンクションキー 23  
プログラムキー 24

## へ

ページをスクロールする 24  
ヘッドホンアウト端子 19

## ほ

保証書 4, 17

## ま

マイクイン端子 19, 21  
マウス 16

## め

メモリーカードスロット 19  
メモリーボード 54  
メモリーボードソケット 54  
メモリーボードの仕様 60

## も

モデム 40

## ゆ

有寿命部品一覧 61

## よ

横置き 30

## ら

ラインアウト端子 21  
ラインイン端子 21

## り

リモコン 16, 31

## 他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。

それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
- ・ その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

---

# Prius 取扱説明書 設置と配線編

初 版 2006 年 12 月

無断転載を禁止します。

---

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

---

## 株式会社 日立製作所 ユビキタスシステム事業部

〒 244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地  
お問い合わせ先: 安心コールセンター 0120-885-596

---

© Hitachi, Ltd. 2006. All rights reserved.



このマニュアルは、再生紙を使用しています。

AR0T010P0-1